

若者の投票行動に関する調査結果について

« 目 次 »

はじめに	2 頁
調査の概要	2 頁
アンケートかがみ文	2 頁
集計結果（単純集計）	3 頁
集計結果（問 29）	25 頁
集計結果（クロス集計と分析）	31 頁
まとめ	53 頁

令和 2 年 12 月
松山市選挙管理委員会事務局

【はじめに】

松山市では、平成 27 年 6 月以降、若者の主権者意識の醸成と投票率の向上を目的に、選挙コンシェルジュや選挙クルーと連携して、小学校から大学まで、主権者教育に関する出前講座やイベントを本格的に行ってきました。

そこで今回、これまでの活動の成果や課題などを検証し、今後の啓発活動の参考にすることを目的に、若者を対象にした調査を行ったものです。

なお、本調査にご協力いただいた、松山大学法学部 明照博章教授、同大学同学部 甲斐朋香准教授、愛媛大学教育学部 井上昌善講師に、この場を借りてお礼申し上げます。

【調査の概要】

調査対象者………松山市内に住民票がある 19 歳から 30 歳までの 3,000 人を無作為で抽出

調査期間………令和 2 年 6 月～7 月 31 日

調査方法………郵便による送付、回答は郵送又はインターネット

調査票の回答数……880 票(回答率 29.3%)

うち、郵送回答 727 票(回答率 24%)、インターネット回答 153 票(回答率 5%)

【アンケートかがみ文】

若者の投票行動に関するアンケート ご協力をお願い

平素より各種選挙における啓発活動の取組についてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび松山市選挙管理委員会事務局では、若者の投票行動について、松山大学法学部 明照博章教授、同大学 同学部 甲斐朋香准教授、愛媛大学 教育学部 井上昌善講師ご協力のもとアンケートを行います。

本アンケートでは、裏面グラフにもあるとおり、近年の投票率の低下、特に若者の投票率の低さについて、その投票行動などを調査分析し、今後の投票率向上に向けた選挙啓発に活かしていきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

令和 2 年 6 月
松山市選挙管理委員会事務局

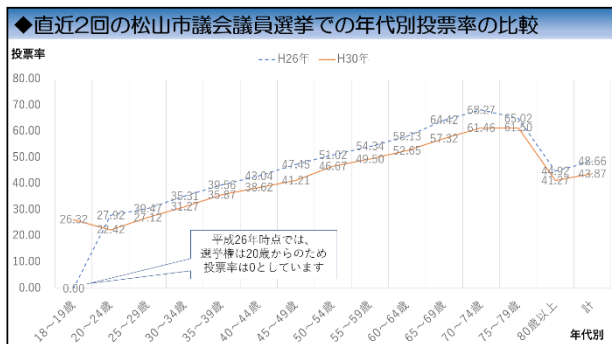
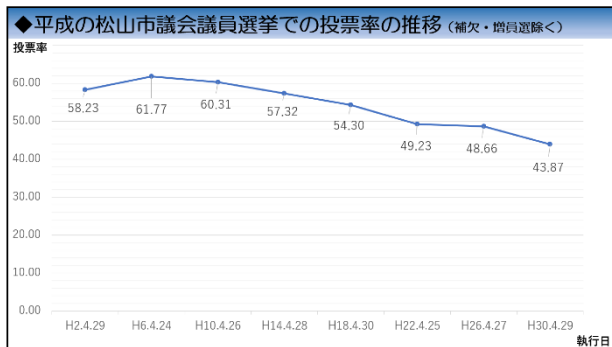
～ご回答にあたって～

- 本アンケートは松山市にお住まいの 19 歳から 30 歳までの方から無作為に抽出した 3,000 人を対象に発送しております。
- 名宛人が長期不在のため回答用紙への記入ができない場合は、お手数ですが同居のご家族による本人への聞き取りでのご回答にご協力をお願いします。
- お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、個人が特定されたり、本調査の目的以外に使用することはありません。
- 本アンケートの設問数は全 29 問、おおよその回答時間は 8 分です。
- 回答は、以下の①または②のいずれかの方法でご回答ください。
 - ①…別紙『若年者層の有権者の投票行動調査票【回答用紙】』で回答
別紙回答用紙にご記入のうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**令和 2 年 7 月 31 日(金)**までに郵便ポストにご投函ください。
 - ②…Google アカウントをお持ちの人は、スマートフォンから回答できます。
右記 QR コードからログインして、**令和 2 年 7 月 31 日(金)**までに回答を入力・送信してください。
※回答者のアカウント情報が本市に通知されることはありません。



【お問い合わせ先】

松山市三番町六丁目 6 番地 1 松山市選挙管理委員会事務局 啓発担当
Tel : 089-948-6619 Fax : 089-934-1811 E-mail : senkan@city.matsuyama.ehime.jp



【集計結果（単純集計）】

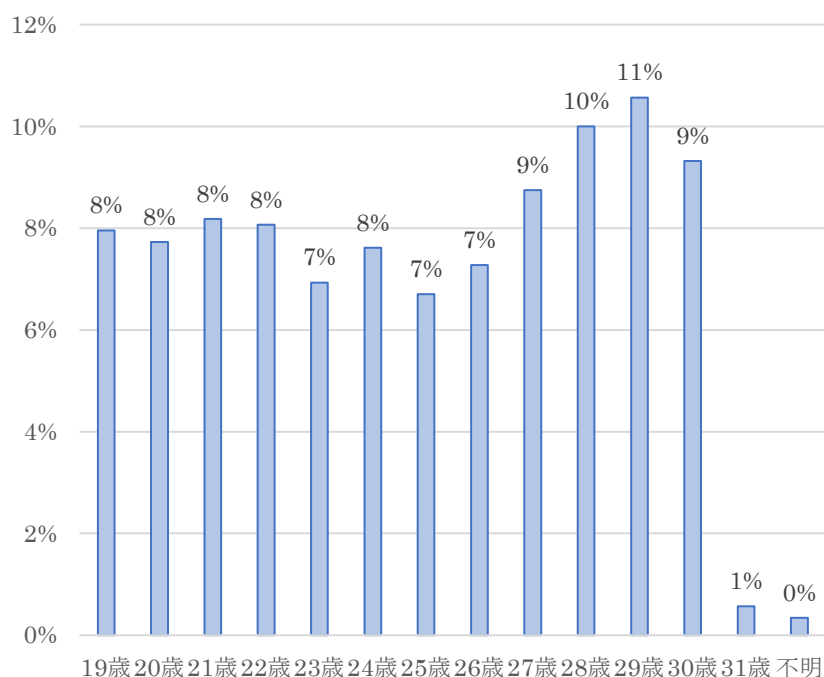
若年者層の有権者の投票行動調査票

～基本項目～

問１．あなたの年齢はおいくつですか。アンケート回答時の年齢をご記入ください。

_____歳

年齢	人数	比率
19 歳	70	8%
20 歳	68	8%
21 歳	72	8%
22 歳	71	8%
23 歳	61	7%
24 歳	67	8%
25 歳	59	7%
26 歳	64	7%
27 歳	77	9%
28 歳	88	10%
29 歳	93	11%
30 歳	82	9%
31 歳	5	1%
不明	3	0%
計	880	100%



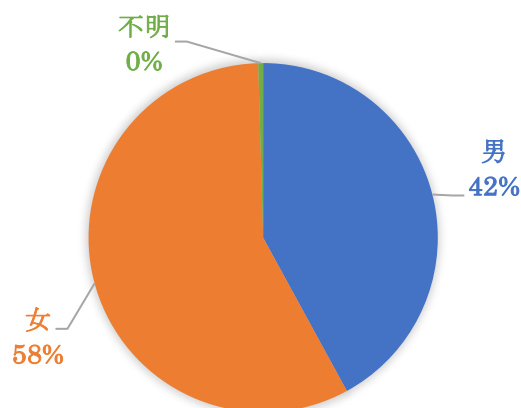
※表及びグラフの比率について小数点以下は四捨五入(以下、同じ)

問２．あなたの性別について該当する番号に○をつけてください。

１．男性

２．女性

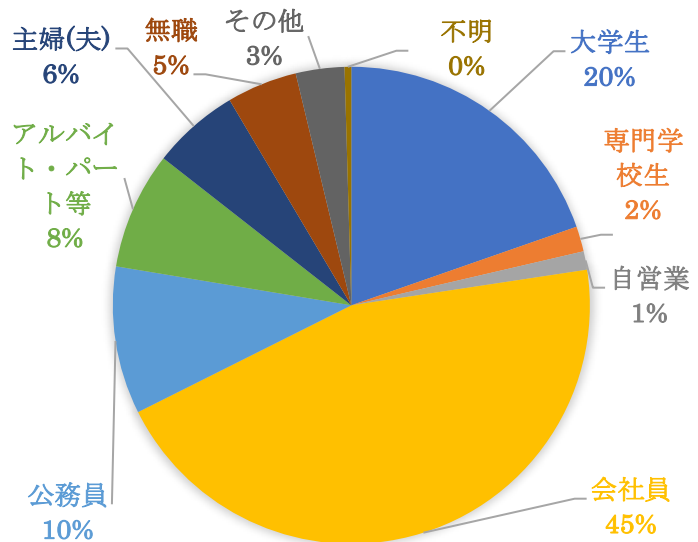
	人数	比率
男	370	42%
女	506	58%
不明	4	0%
計	880	100%



問3. あなたの主たる職業等について該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 1. 大学生 | 2. 専門学校生 | 3. 自営業 |
| 4. 会社員 | 5. 公務員 | 6. アルバイト・パート等 |
| 7. 主婦（夫） | 8. 無職 | 9. その他（ ） |

	人数	比率
大学生	173	20%
専門学校生	15	2%
自営業	11	1%
会社員	396	45%
公務員	88	10%
アルバイト・パート等	70	8%
主婦(夫)	52	6%
無職	42	5%
その他	29	3%
不明	4	0%
計	880	100%

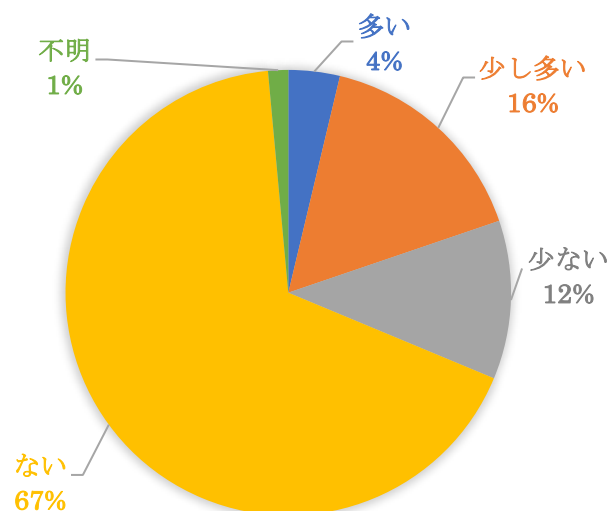


問4. ≪問3で3～7を選択した人に質問です。それ以外の人には問5にお進みください≫

あなたはお仕事等で転勤することは多いですか。

1. 多い（おおむね2年未満毎）
2. 少し多い（おおむね2年以上4年未満毎）
3. 少ない（おおむね4年以上毎）
4. ない

	人数	比率
多い	23	4%
少し多い	99	16%
少ない	71	12%
ない	415	67%
不明	9	1%
計	617	100%

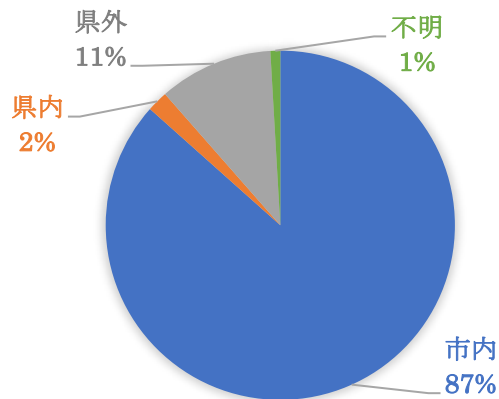


問5. あなたの現在の住所地について該当する番号に○をつけてください。

(住民票の住所ではなく、実際にお住まいの住所でお答えください)

1. 市内 2. 県内（市内除く） 3. 県外

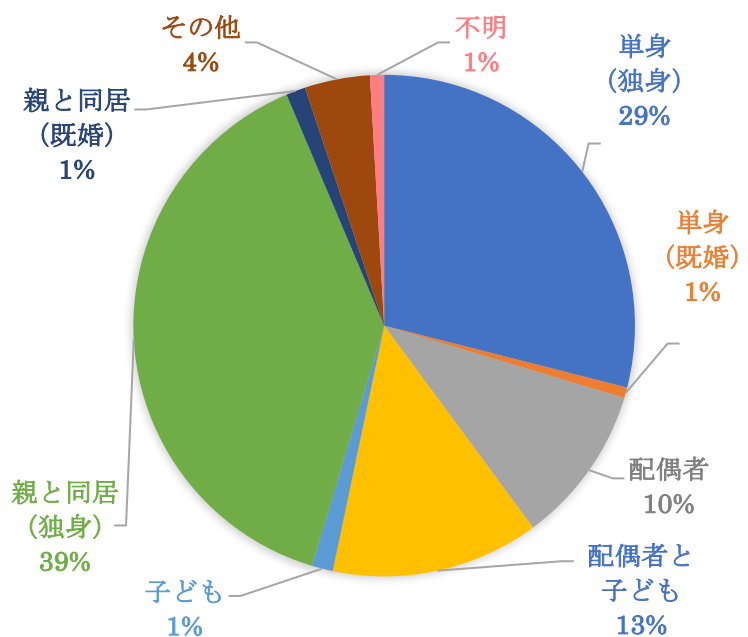
	人数	比率
市内	762	87%
県内	17	2%
県外	93	11%
不明	8	1%
計	880	100%



問6. あなたの現在一緒にお住まいの家族構成について該当する番号に○をつけてください。

1. 単身（独身） 2. 単身（既婚）
 3. 配偶者 4. 配偶者と子ども
 5. 子ども 6. 親と同居（独身）
 7. 親と同居（既婚） 8. その他（ ）

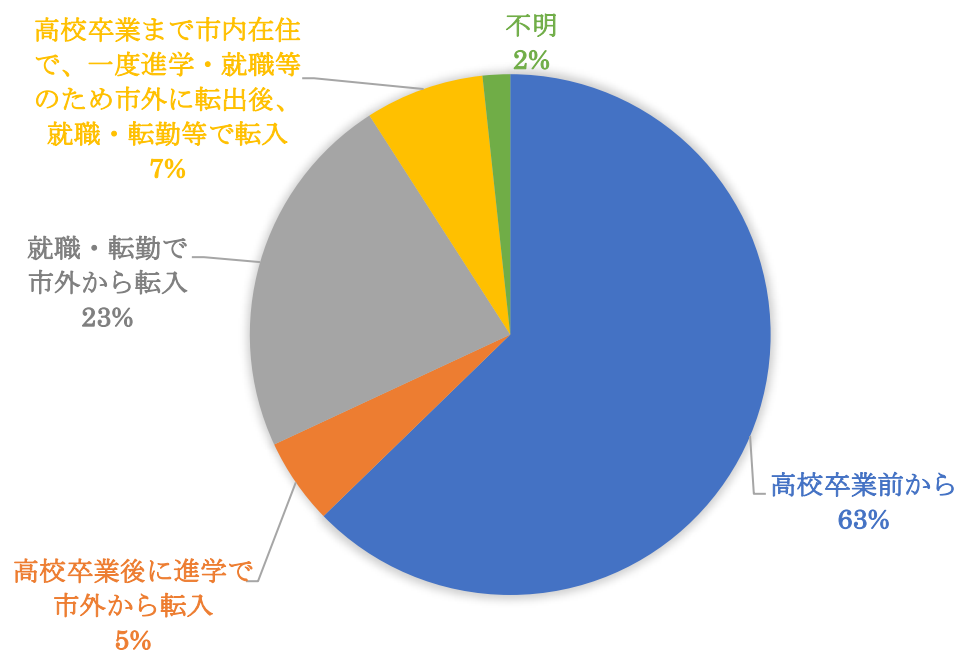
	人数	比率
単身（独身）	255	29%
単身（既婚）	6	1%
配偶者	90	10%
配偶者と子ども	118	13%
子ども	12	1%
親と同居（独身）	343	39%
親と同居（既婚）	11	1%
その他	37	4%
不明	8	1%
計	880	100%



問 7. あなたはいつから松山市に住民票がありますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 高校卒業前から
2. 高校卒業後に進学で市外から転入
3. 就職・転勤で市外から転入
4. 高校卒業まで市内在住で、一度進学・就職等のため市外に転出後、
就職・転勤等で転入

	人数	比率
高校卒業前から	552	63%
高校卒業後に進学で市外から転入	47	5%
就職・転勤で市外から転入	201	23%
高校卒業まで市内在住で、一度進学・就職等のため市外に転出後、就職・転勤等で転入	65	7%
不明	15	2%
計	880	100%

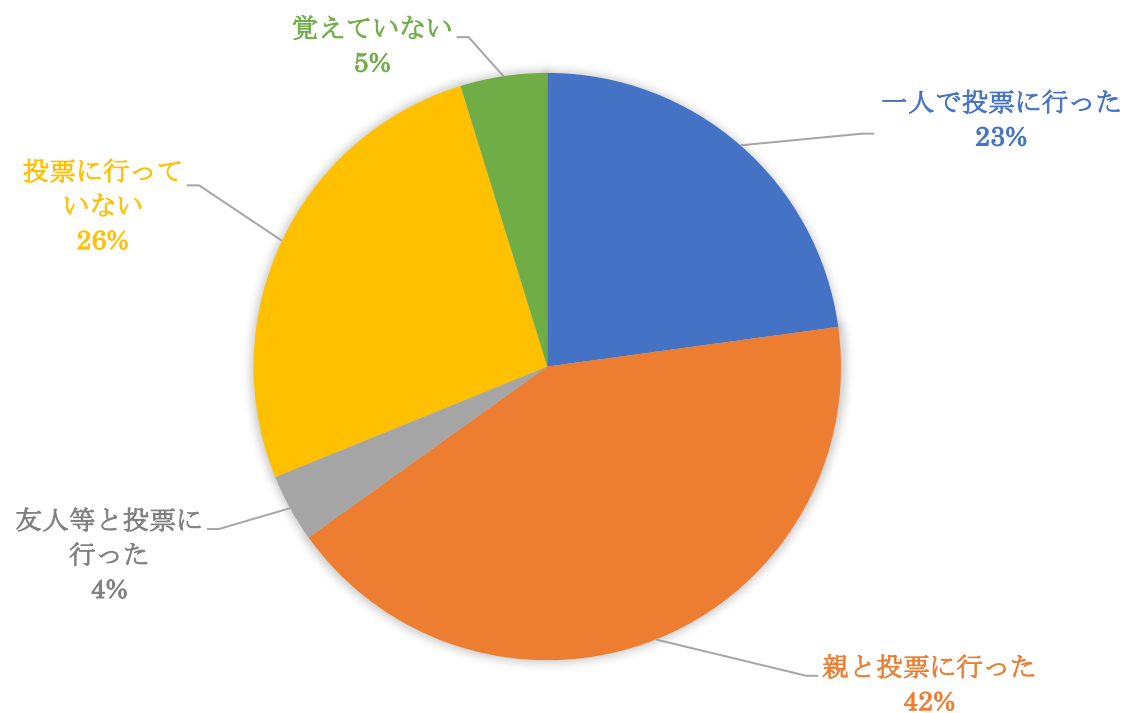


～投票行動～

問 8. あなたが選挙権を得てから、最初に行われた選挙の投票について該当する番号に○をつけてください。

1. 一人で投票に行った
2. 親と投票に行った
3. 友人等と投票に行った
4. 投票に行っていない
5. 覚えていない

	人数	比率
一人で投票に行った	201	23%
親と投票に行った	372	42%
友人等と投票に行った	33	4%
投票に行っていない	232	26%
覚えていない	42	5%
計	880	100%



※問 9 ～ 問 15 は国政選挙に関する質問です。

国政選挙には、衆議院議員総選挙と参議院議員通常選挙があり、直近 10 年間の選挙は以下のとおりです。

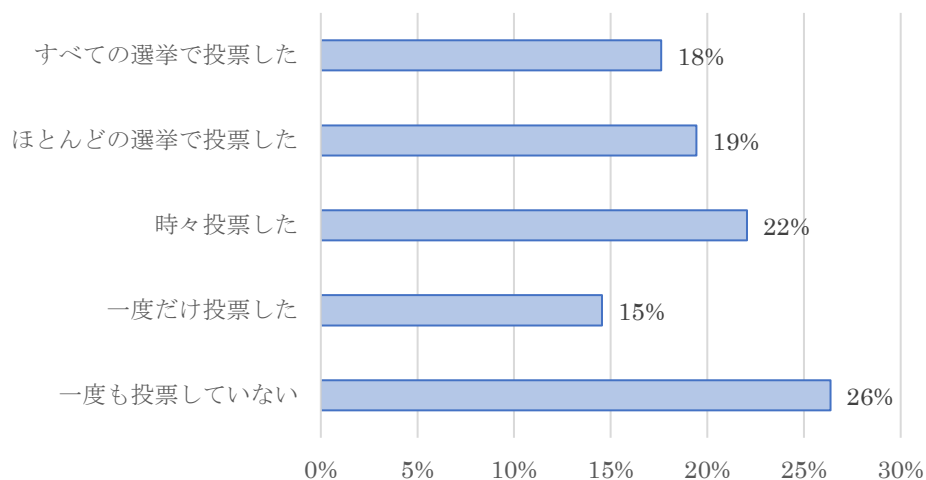
衆議院議員総選挙…H24 年 12 月、H26 年 12 月、H29 年 10 月の 3 回

参議院議員通常選挙…H22 年 7 月、H25 年 7 月、H28 年 7 月、R1 年 7 月の 4 回

問 9. あなたのこれまでの国政選挙の投票状況について、該当する番号に○をつけてください。

1. すべての選挙で投票した
2. ほとんどの選挙で投票した
3. 時々投票した
4. 一度だけ投票した
5. 一度も投票していない

	人数	比率
すべての選挙で投票した	155	18%
ほとんどの選挙で投票した	171	19%
時々投票した	194	22%
一度だけ投票した	128	15%
一度も投票していない	232	26%
計	880	100%



問 10. **《問9で1～4を選択した人に質問です。それ以外の人は問13にお進みください》**

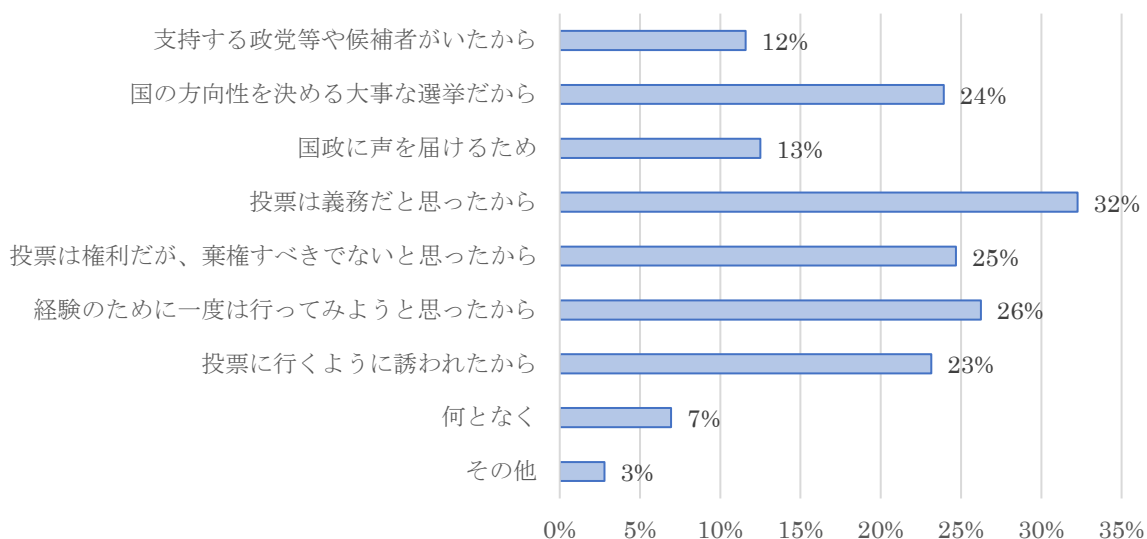
あなたが国政選挙で投票に行った理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。

【複数回答可】

1. 支持する政党等や候補者がいたから
2. 国の方向性を決める大事な選挙だから
3. 国政に声を届けるため
4. 投票は義務だと思ったから
5. 投票は権利だが、棄権すべきではないと思ったから
6. 経験のために一度は行ってみようと思ったから
7. 投票に行くように誘われたから
8. 何となく
9. その他（ ）

	人数	比率
支持する政党等や候補者がいたから	75	12%
国の方向性を決める大事な選挙だから	155	24%
国政に声を届けるため	81	13%
投票は義務だと思ったから	209	32%
投票は権利だが、棄権すべきでないと思ったから	160	25%
経験のために一度は行ってみようと思ったから	170	26%
投票に行くように誘われたから	150	23%
何となく	45	7%
その他	18	3%

※比率の分母は問9で1～4を選択した648人



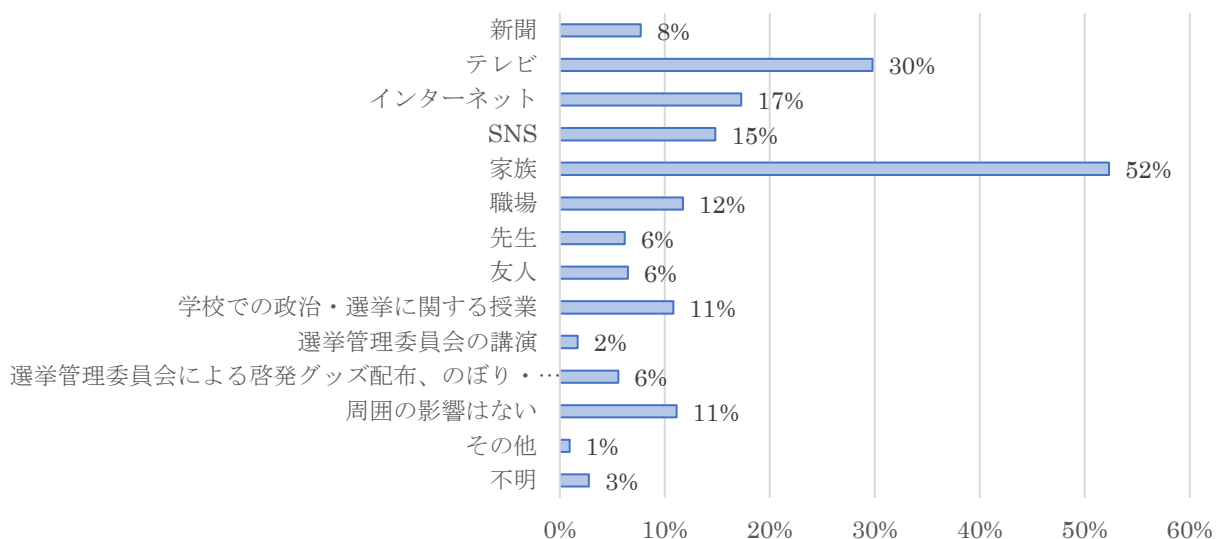
問 11. **《問9で1～4を選択した人に質問です。それ以外の方は問13にお進みください》**

あなたが国政選挙で投票に行くことについて、影響をうけたものや、投票に行くように声をかけられたことはありますか。該当する番号に○をつけてください。【複数回答可】

1. 新聞 2. テレビ 3. インターネット 4. SNS
 5. 家族 6. 職場 7. 先生 8. 友人
 9. 学校での政治・選挙に関する授業 10. 選挙管理委員会等の講演
 11. 選挙管理委員会による啓発グッズ配布、のぼり・ポスター等掲示
 12. 周囲の影響はない 13. その他（ ）

	人数	比率
新聞	50	8%
テレビ	193	30%
インターネット	112	17%
SNS	96	15%
家族	339	52%
職場	76	12%
先生	40	6%
友人	42	6%
学校での政治・選挙に関する授業	70	11%
選挙管理委員会の講演	11	2%
選挙管理委員会による啓発グッズ配布、のぼり・ポスター等掲示	36	6%
周囲の影響はない	72	11%
その他	6	1%
不明	18	3%

※比率の分母は問9で1～4を選択した648人



問 12. 《問 9 で 1 ～ 4 を選択した人に質問です。それ以外の方は問 13 にお進みください》

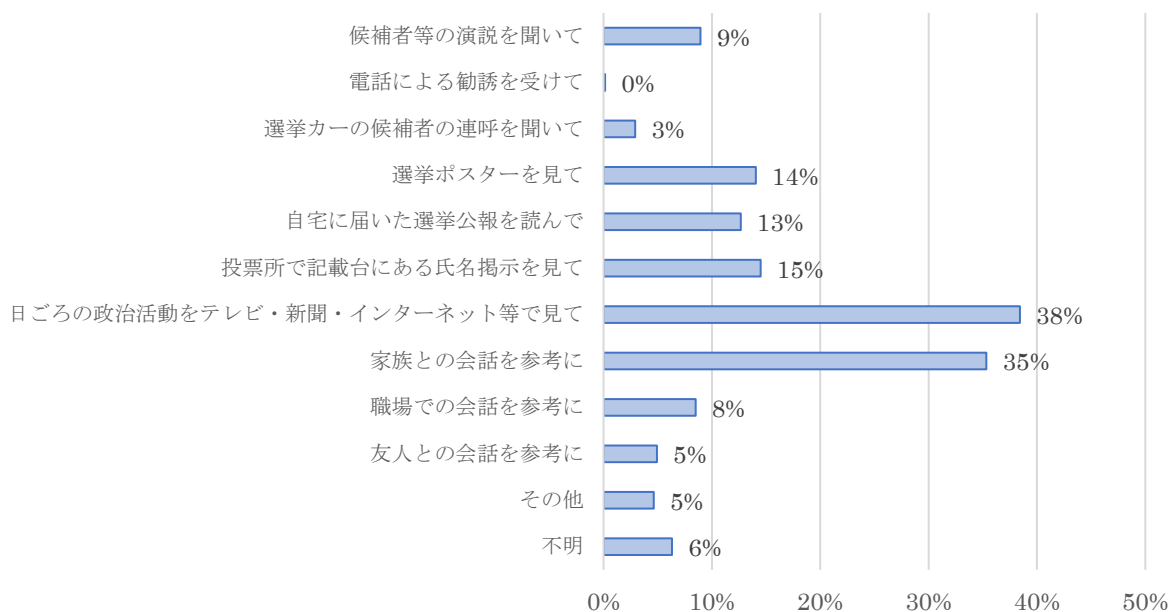
あなたは投票する政党等や候補者をどのようにして決めましたか。

【複数回答可】

1. 候補者等の演説を聞いて
2. 電話による勧誘を受けて
3. 選挙カーの候補者の連呼を聞いて
4. 選挙ポスターを見て
5. 自宅に届いた選挙公報を読んで
6. 投票所で記載台にある氏名掲示を見て
7. 日頃の政治活動をテレビ・新聞・インターネット等で見て
8. 家族との会話を参考に
9. 職場での会話を参考に
10. 友人との会話を参考に
11. その他 ()

	人数	比率
候補者等の演説を聞いて	58	9%
電話による勧誘を受けて	1	0%
選挙カーの候補者の連呼を聞いて	19	3%
選挙ポスターを見て	91	14%
自宅に届いた選挙公報を読んで	82	13%
投票所で記載台にある氏名掲示を見て	94	15%
日ごろの政治活動をテレビ・新聞・インターネット等で見て	249	38%
家族との会話を参考に	229	35%
職場での会話を参考に	55	8%
友人との会話を参考に	32	5%
その他	30	5%
不明	41	6%

※比率の分母は問9で1~4を選択した648人



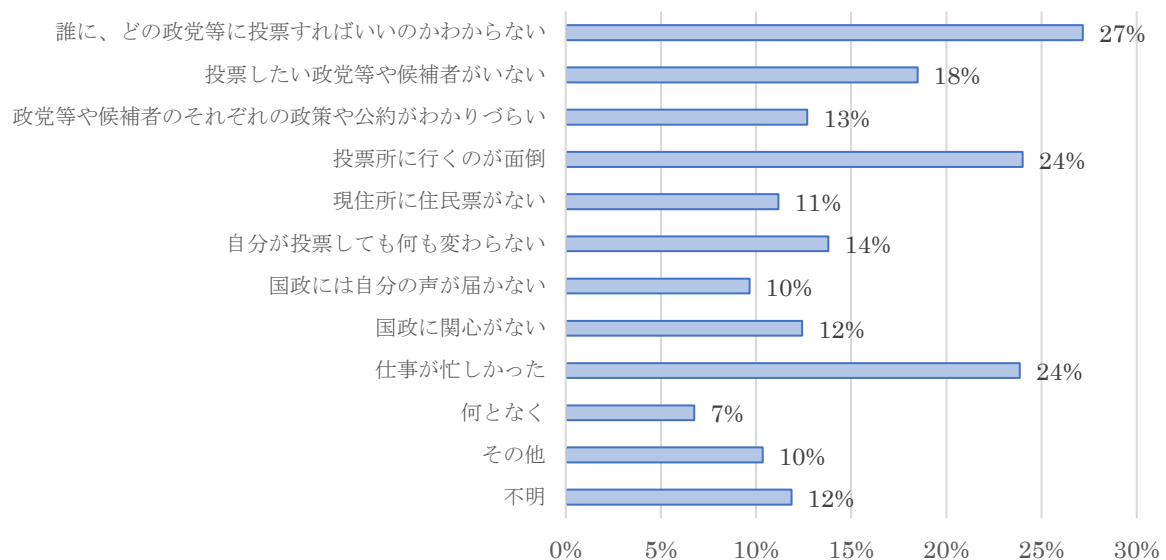
問 13. **《問 9 で 2 ～ 5 を選択した人に質問です。それ以外の人には問 14 にお進みください》**

あなたがこれまでの国政選挙で一度でも投票に行かなかった理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。【複数回答可】

1. 誰に、どの政党等に投票すればいいのかわからない
2. 投票したい政党等や候補者がいない
3. 政党等や候補者のそれぞれの政策や公約がわかりづらい
4. 投票所に行くのが面倒
5. 現居住地に住民票がない
6. 自分が投票しても何も変わらない
7. 国政には自分の声が届かない
8. 国政に関心がない
9. 仕事が忙しかった
10. 何となく
11. その他（ ）

	人数	比率
誰に、どの政党等に投票すればいいのかわからない	197	27%
投票したい政党等や候補者がいない	134	18%
政党等や候補者のそれぞれの政策や公約がわかりづらい	92	13%
投票所に行くのが面倒	174	24%
現住所に住民票がない	81	11%
自分が投票しても何も変わらない	100	14%
国政には自分の声が届かない	70	10%
国政に関心がない	90	12%
仕事が忙しかった	173	24%
何となく	49	7%
その他	75	10%
不明	86	12%

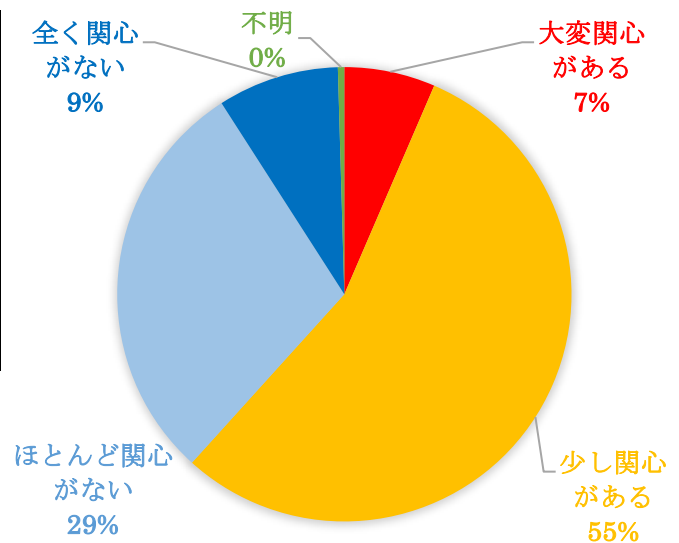
※比率の分母は問 9 で 2～5 を選択した 725 人



問 14. あなたは国の政治にどれくらい関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 大変関心がある
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報は毎日ひととおり見ている)
2. 少し関心がある
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報は気になるところは見ている)
3. ほとんど関心がない
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報はほとんど見ない)
4. 全く関心がない
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報は全く見ない)

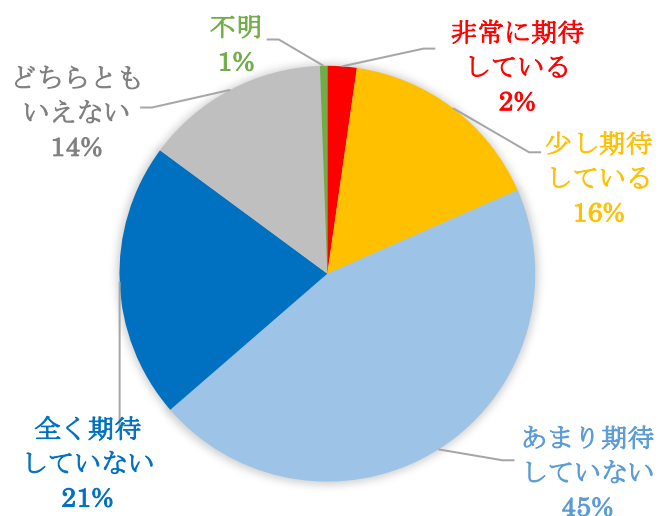
	人数	比率
大変関心がある	57	7%
少し関心がある	486	55%
ほとんど関心がない	257	29%
全く関心がない	76	9%
不明	4	0%
計	880	100%



問 15. あなたは現在の国の政治に期待していますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 非常に期待している
2. 少し期待している
3. あまり期待していない
4. 全く期待していない
5. どちらとも言えない

	人数	比率
非常に期待している	20	2%
少し期待している	142	16%
あまり期待していない	398	45%
全く期待していない	189	21%
どちらとも言えない	126	14%
不明	5	1%
計	880	100%



※問 16～問 22 は地方選挙に関する質問です。

地方選挙には、愛媛県知事選挙と愛媛県議会議員選挙、松山市長選挙と松山市議会議員選挙があり、直近 10 年間の選挙は以下のとおりです。

愛媛県知事・松山市長選挙…H22 年 11 月、H26 年 11 月、H30 年 11 月の 3 回

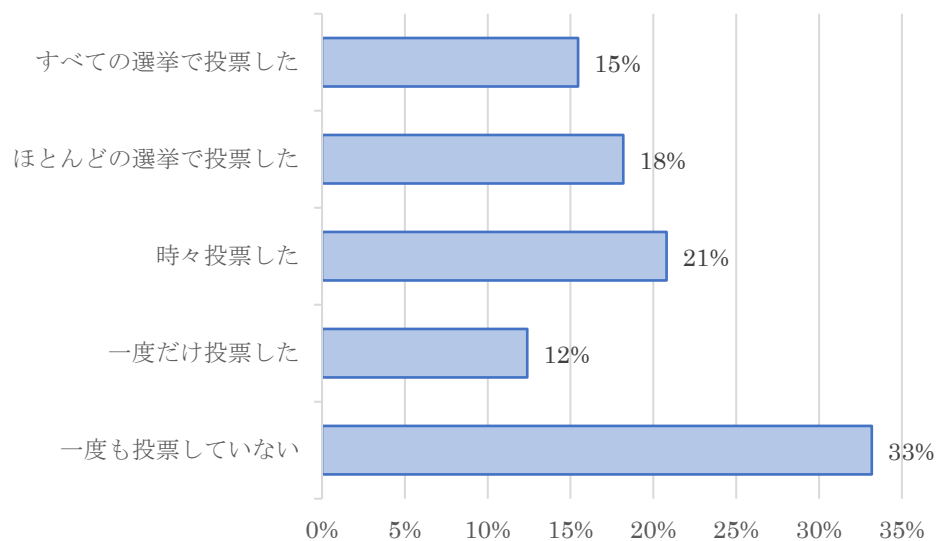
愛媛県議会議員選挙(補欠選挙除く)…H23 年 4 月、H27 年 4 月、H31 年 4 月の 3 回

松山市議会議員選挙…H22 年 4 月、H26 年 4 月、H30 年 4 月の 3 回

問 16. あなたのこれまでの地方選挙の投票状況について、該当する番号に○をつけてください。

1. すべての選挙で投票した
2. ほとんどの選挙で投票した
3. 時々投票した
4. 一度だけ投票した
5. 一度も投票していない

	人数	比率
すべての選挙で投票した	136	15%
ほとんどの選挙で投票した	160	18%
時々投票した	183	21%
一度だけ投票した	109	12%
一度も投票していない	292	33%
計	880	100%



問 17. **《問 16 で 1 ～ 4 を選択した人に質問です。それ以外の人は問 20 にお進みください》**

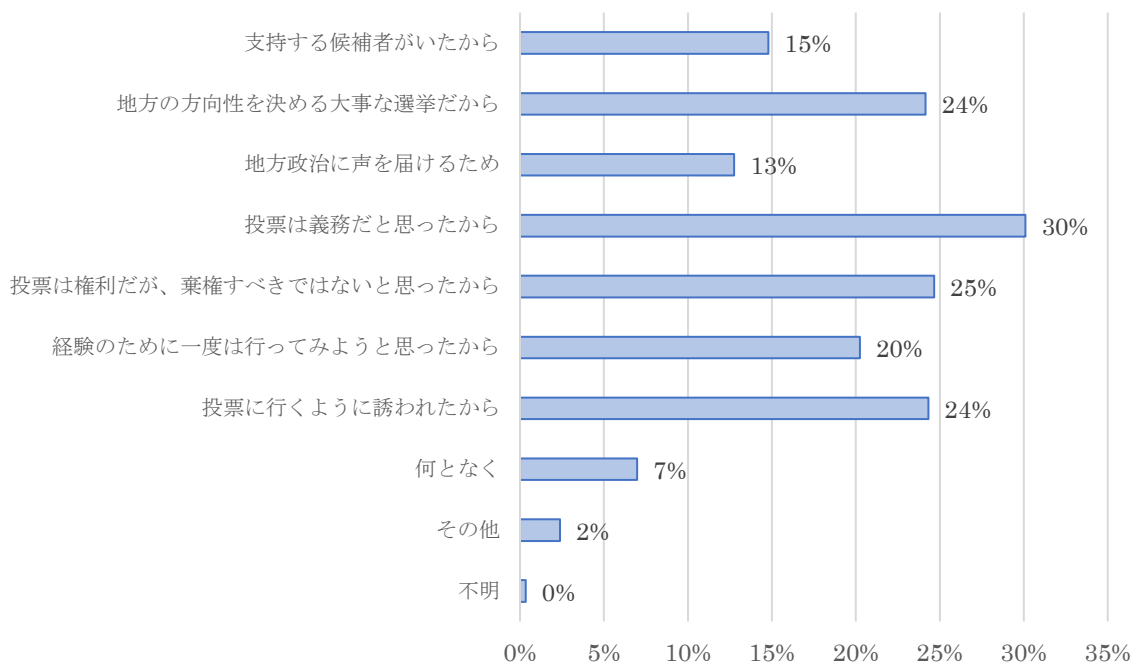
あなたが地方選挙で投票に行った理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。

【複数回答可】

1. 支持する候補者がいたから
2. 地方の方向性を決める大事な選挙だから
3. 地方政治に声を届けるため
4. 投票は義務だと思ったから
5. 投票は権利だが、棄権すべきではないと思ったから
6. 経験のために一度は行ってみようと思ったから
7. 投票に行くように誘われたから
8. 何となく
9. その他（ ）

	人数	比率
支持する候補者がいたから	87	15%
地方の方向性を決める大事な選挙だから	142	24%
地方政治に声を届けるため	75	13%
投票は義務だと思ったから	177	30%
投票は権利だが、棄権すべきではないと思ったから	145	25%
経験のために一度は行ってみようと思ったから	119	20%
投票に行くように誘われたから	143	24%
何となく	41	7%
その他	14	2%
不明	2	0%

※比率の分母は問 16 で 1～4 を選択した 588 人



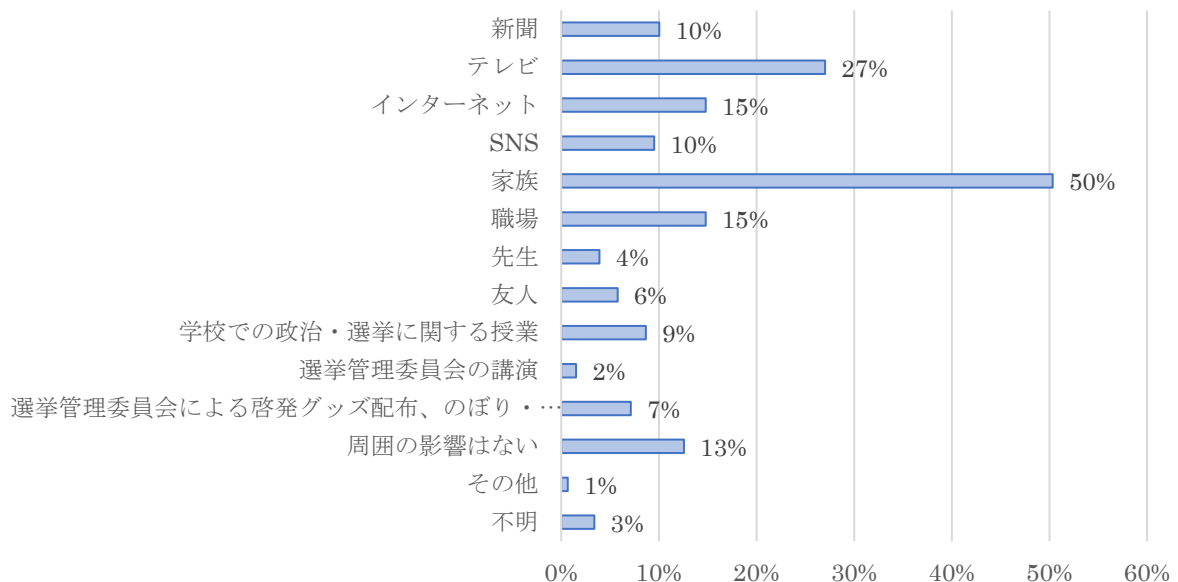
問 18. **《問 16 で 1 ～ 4 を選択した人に質問です。それ以外の人は問 20 にお進みください》**

あなたが地方選挙で投票に行くことについて、影響をうけたものや、投票に行くように声をかけられたことはありますか。該当する番号に○をつけてください。【複数回答可】

1. 新聞 2. テレビ 3. インターネット 4. SNS
 5. 家族 6. 職場 7. 先生 8. 友人
 9. 学校での政治・選挙に関する授業 10. 選挙管理委員会等の講演
 11. 選挙管理委員会による啓発グッズ配布、のぼり・ポスター等掲示
 12. 周囲の影響はない 13. その他（ ）

	人数	比率
新聞	59	10%
テレビ	159	27%
インターネット	87	15%
SNS	56	10%
家族	296	50%
職場	87	15%
先生	23	4%
友人	34	6%
学校での政治・選挙に関する授業	51	9%
選挙管理委員会の講演	9	2%
選挙管理委員会による啓発グッズ配布、のぼり・ポスター等掲示	42	7%
周囲の影響はない	74	13%
その他	4	1%
不明	20	3%

※比率の分母は問 16 で 1～4 を選択した 588 人



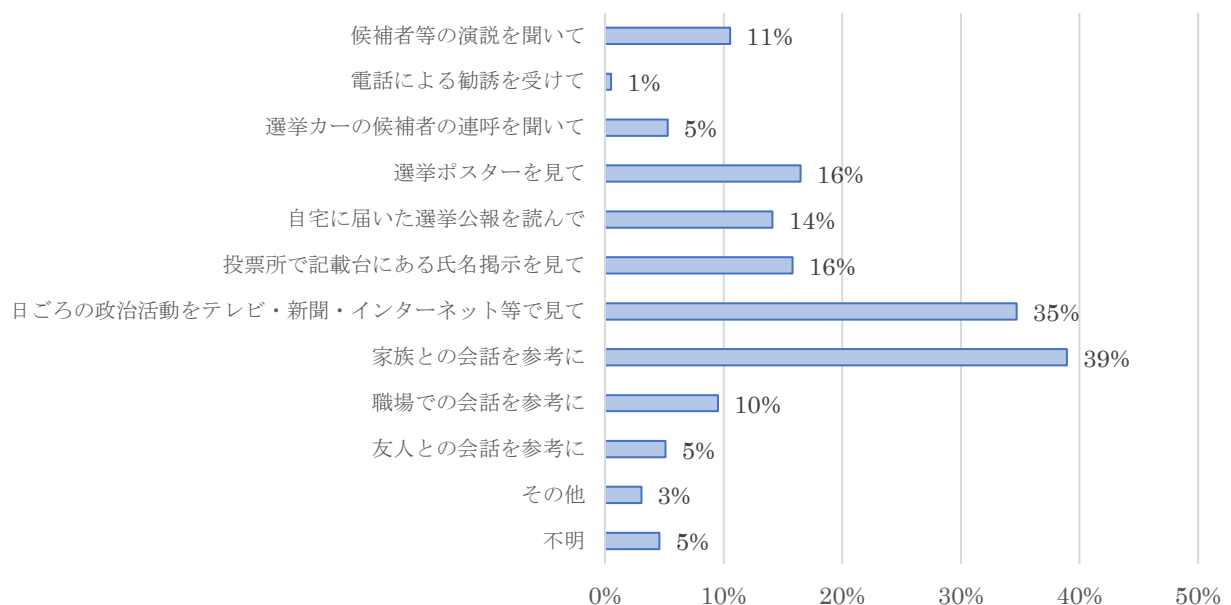
問 19. **《問 16 で 1 ～ 4 を選択した人に質問です。それ以外の人は問 20 にお進みください》**

あなたは投票する候補者をどのようにして決めましたか。該当する番号に○をつけてください。【複数回答可】

1. 候補者の演説を聞いて
2. 電話による勧誘を受けて
3. 選挙カーの候補者の連呼を聞いて
4. 選挙ポスターを見て
5. 自宅に届いた選挙公報を読んで
6. 投票所で記載台にある氏名掲示を見て
7. 日頃の政治活動をテレビや新聞・インターネット等で見て
8. 家族との会話を参考に
9. 職場での会話を参考に
10. 友人との会話を参考に
11. その他()

	人数	比率
候補者等の演説を聞いて	62	11%
電話による勧誘を受けて	3	1%
選挙カーの候補者の連呼を聞いて	31	5%
選挙ポスターを見て	97	16%
自宅に届いた選挙公報を読んで	83	14%
投票所で記載台にある氏名掲示を見て	93	16%
日ごろの政治活動をテレビ・新聞・インターネット等で見て	204	35%
家族との会話を参考に	229	39%
職場での会話を参考に	56	10%
友人との会話を参考に	30	5%
その他	18	3%
不明	27	5%

※比率の分母は問 16 で 1～4 を選択した 588 人



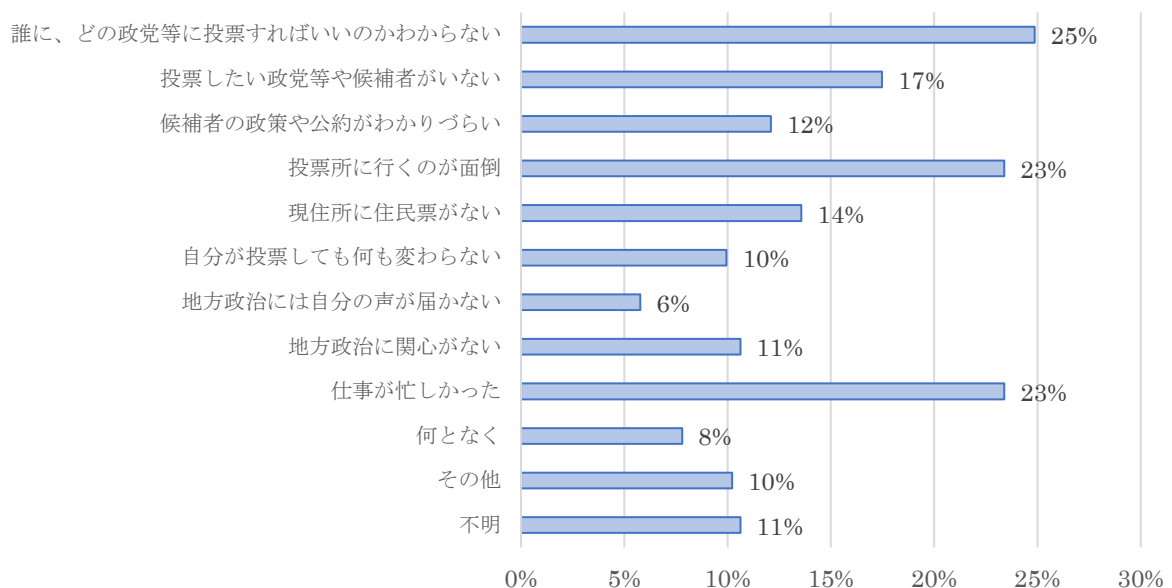
問 20. ≪問 16 で 2 ～ 5 を選択した人に質問です。それ以外の人は問 21 にお進みください≫

あなたがこれまでの地方選挙で一度でも投票に行かなかった理由は何ですか。該当する番号に○をつけてください。【複数回答可】

1. 誰に投票すればいいのかわからない
2. 投票したい候補者がいない
3. 候補者の政策や公約がわかりづらい
4. 投票所に行くのが面倒
5. 現居住地に住民票がない
6. 自分が投票しても何も変わらない
7. 地方政治には自分の声が届かない
8. 地方政治に関心がない
9. 仕事が忙しかった
10. 何となく
11. その他（ ）

	人数	比率
誰に、どの政党等に投票すればいいのかわからない	185	25%
投票したい政党等や候補者がいない	130	17%
候補者の政策や公約がわかりづらい	90	12%
投票所に行くのが面倒	174	23%
現住所に住民票がない	101	14%
自分が投票しても何も変わらない	74	10%
地方政治には自分の声が届かない	43	6%
地方政治に関心がない	79	11%
仕事が忙しかった	174	23%
何となく	58	8%
その他	76	10%
不明	79	11%

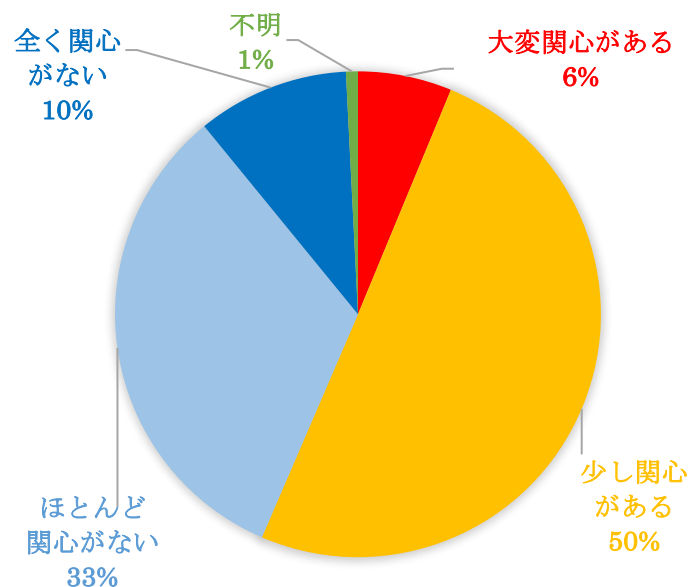
※比率の分母は問 16 で 2～5 を選択した 744 人



問 21. あなたは地方政治にどれくらい関心がありますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 大変関心がある
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報は毎日ひととおり見ている)
2. 少し関心がある
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報は気になるところは見ている)
3. ほとんど関心がない
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報はほとんど見ない)
4. 全く関心がない
(新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報は全く見ない)

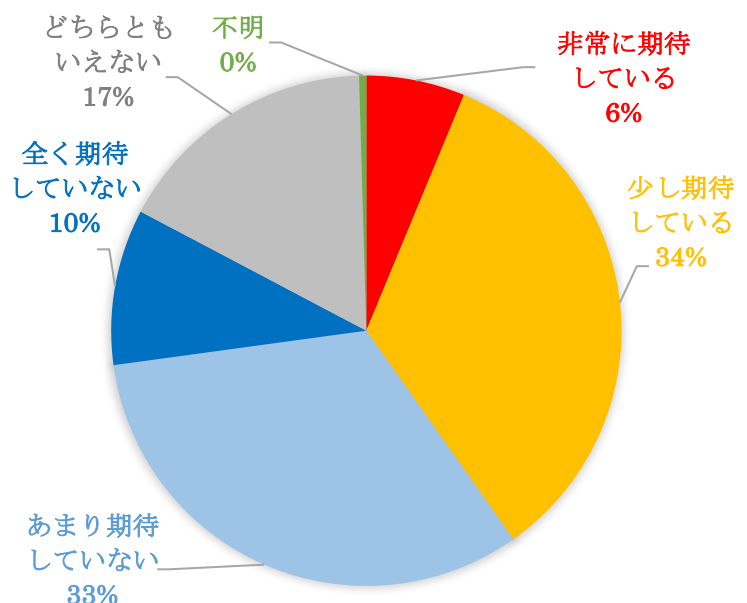
	人数	比率
大変関心がある	55	6%
少し関心がある	442	50%
ほとんど関心がない	287	33%
全く関心がない	89	10%
不明	7	1%
計	880	100%



問 22. あなたは現在の地方政治に期待していますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 非常に期待している
2. 少し期待している
3. あまり期待していない
4. 全く期待していない
5. どちらとも言えない

	人数	比率
非常に期待している	55	6%
少し期待している	299	34%
あまり期待していない	287	33%
全く期待していない	87	10%
どちらとも言えない	148	17%
不明	4	0%
計	880	100%



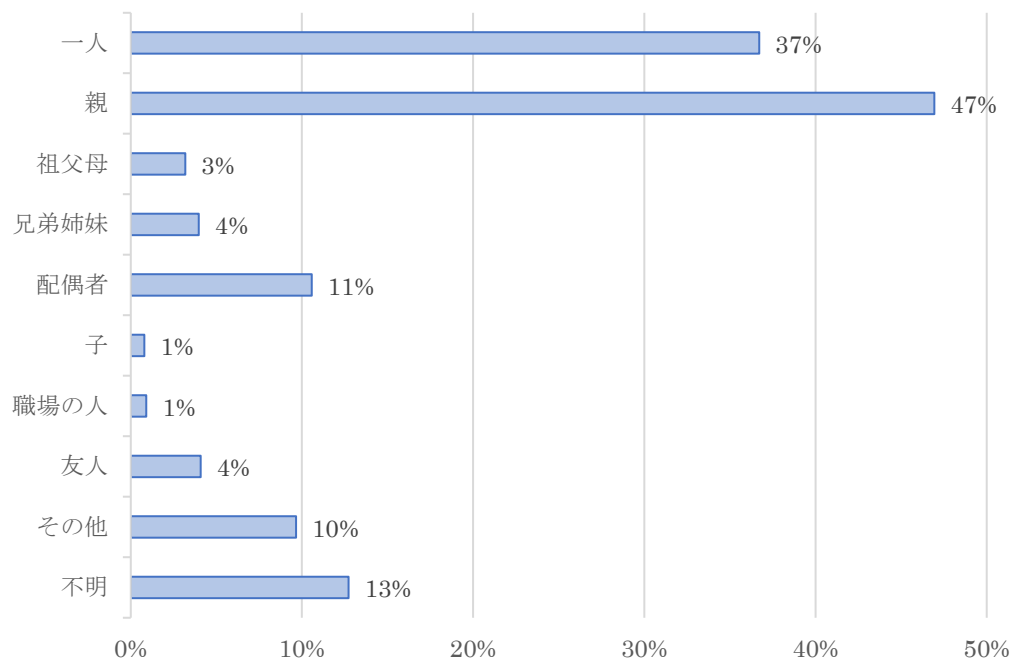
問 23. あなたはこれまでの選挙（国政選挙及び地方選挙）で投票には誰と行きましたか。

該当する番号に○をつけてください。【複数回答可】

- | | | |
|---------|--------|----------------------|
| 1. 一人 | 2. 親 | 3. 祖父母 |
| 4. 兄弟姉妹 | 5. 配偶者 | 6. 子 |
| 7. 職場の人 | 8. 友人 | 9. その他（ ） |

	人数	比率
一人	323	37%
親	413	47%
祖父母	28	3%
兄弟姉妹	35	4%
配偶者	93	11%
子	7	1%
職場の人	8	1%
友人	36	4%
その他	85	10%
不明	112	13%

※比率の分母はアンケート回答者数 880 人



～選挙啓発～

問 24. あなたはこれまで学校等で、政治や選挙に関する主権者教育※を受けたことがありますか。

該当する番号に○をつけてください。【abc それぞれ回答】

(a. 中学・高校で)

1. ある 2. ない 3. わからない

(b. 大学・専門学校で)

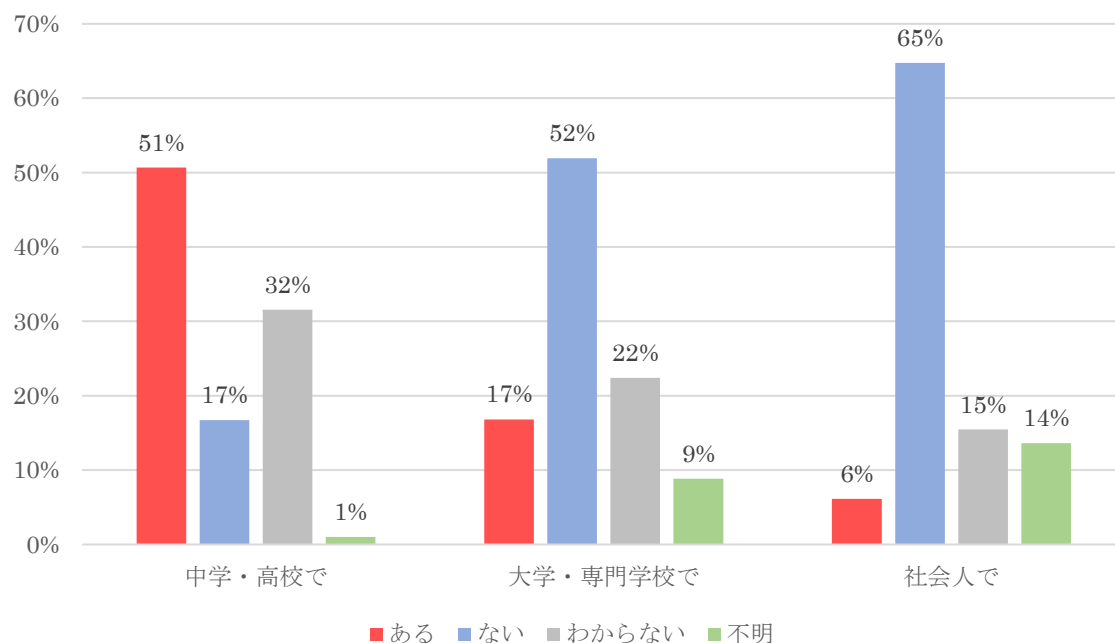
1. ある 2. ない 3. わからない

(c. 社会人で)

1. ある 2. ない 3. わからない

※主権者教育とは…国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促し、必要な知識と判断力、行動力の習熟を進める教育として定義されているものです。

	中学・高校で (人数)	(比率)	大学・専門学校で (人数)	(比率)	社会人で (人数)	(比率)
ある	446	51%	148	17%	54	6%
ない	147	17%	457	52%	570	65%
わからない	278	32%	197	22%	136	15%
不明	9	1%	78	9%	120	14%
計	880	100%	880	100%	880	100%



問 25. あなたはこれまで学校等で、選挙管理委員会等が行う選挙啓発の講演を聞いたことがありますか。該当する番号に○をつけてください。【abc それぞれに回答】

(a. 中学・高校で)

1. ある 2. ない 3. わからない

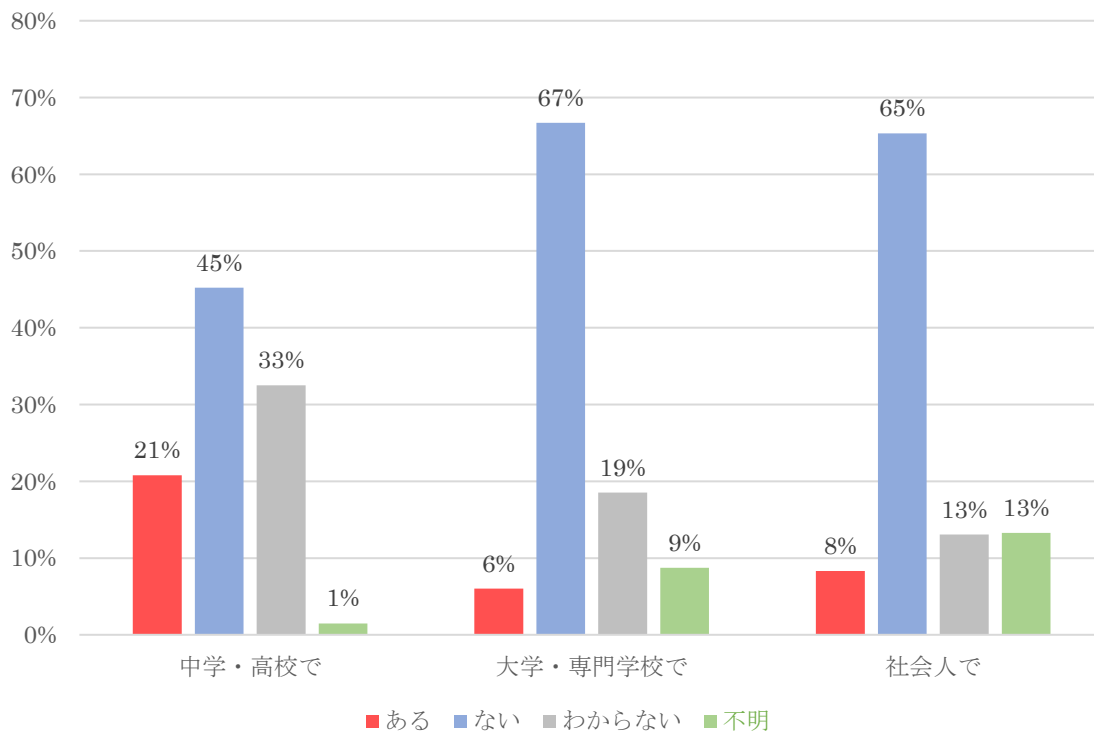
(b. 大学・専門学校で)

1. ある 2. ない 3. わからない

(c. 社会人で)

1. ある 2. ない 3. わからない

	中学・高校で (人数)	(比率)	大学・専門学校で (人数)	(比率)	社会人で (人数)	(比率)
ある	183	21%	53	6%	73	8%
ない	398	45%	587	67%	575	65%
わからない	286	33%	163	19%	115	13%
不明	13	1%	77	9%	117	13%
計	880	100%	880	100%	880	100%

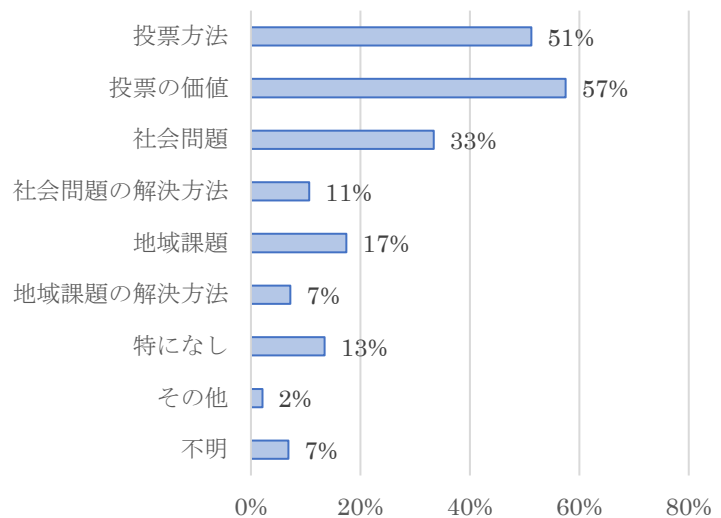


あなたがこれまで受けた主権者教育や講演を通じて、どのようなことを学びましたか。該当する番号に○をつけてください。【複数回答可】

1. 投票方法
2. 投票の価値
3. 社会問題
4. 社会問題の解決方法
5. 地域課題
6. 地域課題の解決方法
7. 特になし
8. その他 ()

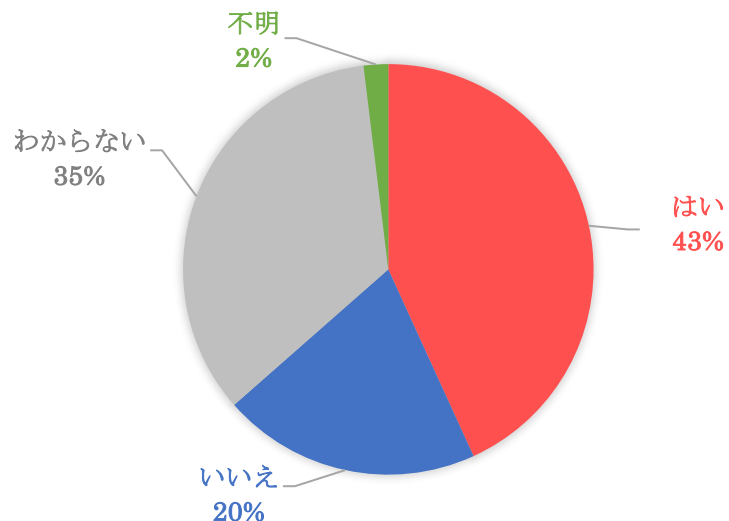
	人数	比率
投票方法	270	51%
投票の価値	303	57%
社会問題	176	33%
社会問題の解決方法	56	11%
地域課題	92	17%
地域課題の解決方法	38	7%
特になし	71	13%
その他	11	2%
不明	36	7%

※比率の分母は問 24 又は問 25 の
いずれかで 1 を選択した 527 人



1. はい 2. いいえ 3. わからない

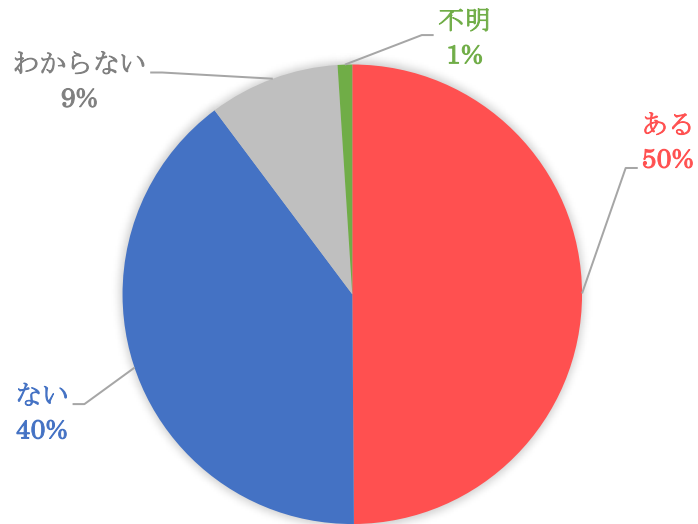
	人数	比率
はい	380	43%
いいえ	179	20%
わからない	304	35%
不明	17	2%
計	880	100%



問 28. あなたは子どもの頃に親と一緒に、投票に行ったことがありますか。該当する番号に○をつけてください。

1. ある 2. ない 3. わからない

	人数	比率
ある	439	50%
ない	351	40%
わからない	81	9%
不明	9	1%
計	880	100%



問 29. **《問 9 又は問 16 で 1 ～ 4 を選択した人に質問です。》**

あなたが投票に行くきっかけとなった言葉などがあれば教えてください。

(次頁参照)

【集計結果（問 29）】

※以下、特定の個人・団体に関する記述や、投票に行くきっかけになった言葉などに関連がない記述については省略しています。

～家族の言葉や影響～

家族から、選挙に行くのは普通のことだと言われた
家族と一緒に行こうと誘われたから
家族に当然のように連れて行かれた。
言葉というより自然と親と行くようになった
自分が幼い頃から両親が選挙に行っていたので、行くのが当たり前だと思っている。
初めての選挙やけん一緒に行く？と母に言われた。
親「行っとくか」
親から「投票のやつ届いとるよー！！」
親から行くように強く推奨されたため
親に言われたから
親に行けと言われていった
親に誘われた
親の選挙への考え方
親や学校に言われたから
選挙は行っとかないかんよ(祖母の言葉)
投票は義務だからと親にずっと言われた
投票所に行く親について行っていたので、行くことが当たり前だと思っていた。
父の「〇〇（名前）、選挙行ときよー！」
母に「行けるなら投票に行くべきだ」と言われた。
母親から「あんたにも投票用紙来てるよ」自分もそういう歳になったんだという実感と一回ぐらい経験してみようという気持ちになった。
両親から「選挙権を無駄にするな」といわれてきたので行くのが当たり前だと思っています。今思えばそれがきっかけかもしれません。
（選挙）ハガキが来たよー

～1 票の価値～

「あなたの一票が～」
「この選挙は『国を変える選挙』です」と言われた事です
「投票率が上がれば、変えられることがある」
1 票が国を変える

1 票の価値
あなたの 1 票は、大切な 1 票よ
あなたの一票が大事（大切）です。
あなたの一票が未来を変える
あるもの(投票権)は使わないと損
その一票が大切
その一票が未来を変える
テレビ番組で国民が選んだ政治家ですべて決まることを耳にして行くようになった。今はあさイチの空箱確認で きるくらい早くいきます。
一票の価値は大きい
元々住民票さえ松山にあれば、選挙に行きたいと思っていたので行くきっかけになったわけではないが、「若者 よ、選挙に行くな！」という動画はいい動画だと思った。
個人の 1 票が大きな 1 票となる
国を変えるのはあなたの 1 票です
自分たちの 1 票が大事
自分の為にも投票に行ったほうがいい
自分の一票が政治を変えるかもしれない
塵も積もれば山となる
選挙に行かない理由がわからない
投票したら何か変わるかもしれない。
投票しないと何も始まらない
投票に行くことで地域の問題解決するきっかけになる
投票用紙にも多額な費用がかかっている
投票率が下がれば組織票が有効になってよくない

～投票は義務～

「投票は義務」
義務
義務だから
義務だからね、のひとこと
行くのが義務
国民の義務
国民の義務である
政治を批判していいのは、投票という義務を果たした人のみ
選挙は国民の義務

選挙権があるのに使わないのはダメだ
投票に行くことは有権者の義務である
投票は国民としての義務である
投票は国民の義務

～投票は権利～

18 才選挙権初の選挙
高校生にも選挙権がある
国の方向性を国民が決める大事な権利。国民である以上、今後の未来がかかったものでもあるので権利を使わないのは止めたほうがいいし、考えたほうがいいよ
国民なら投票くらい行けよ・昔の人たちが戦争を起こしてまで選挙権を手に入れた選挙権を私たちは一定の年齢を超えれば何もなくても手に入れられるその権利を行使しないのはどうかと思う
国民主権、憲法前文、「希望する投票者が当選しなくても投票率が向上するだけで議員さんは意見を無視できなくなる。自由は享受するものではなく自らつかみとるものだ。」
自分は国民の一人だから
女性参政権が得られたのはごく最近のことだ
選挙権がある
投票に行くのは社会の一員として当然だ
当時、20 歳になり投票権利を得たから
平和な時代だからこそ選挙権があり選挙に当たり前の様に行ける。

～経験のため～

経験として投票の仕方を覚えようと言われた
経験のために行くべきだ。

～投票への声かけ～

20 歳なんだから選挙へ行きなさい
とりあえず投票はしなさい
一緒に投票に行ってみよう。
会社の人をお願いされた。
行くのが面倒。投票しに行こうと誘ってもらったから。インターネット投票が可能になってほしい。
行け
行つてほしいよ
今日は、選挙の日だよ
小学校に行くと聞いてついていった
親の職業団体が支持する人に投票してくれ
選挙だから行けど

届いたけん行くよ
～政治への参加（意思表示）～
「国民、市民として大事な意見の一つですよ」と教えられました。
「投票に行かないやつに、政治について文句を言う資格は無い」「投票に行かない人間の声を政治家は聞かない」「誰にも票を入れたくなくても投票には行きなさい。より愚かな人間が悪政を振るわないように。」
きちんと投票しないで政治に文句を言う資格はない
テレビで言っていた「この一票じゃ何も変わらないと思ったところで、その一票でしか何も変えられない」
よくわからなくても投票には行きなさい。じゃないと政治家に文句言う資格ないよ。
意思表示は大切
言葉ではないのですが専業主婦のときはあまり投票することに興味はありませんでしたが今の会社に転職し社長が政治などに大変関心のある方でその話（個人的な政治の在り方などを熱弁されます）を聞いていると、社長の思想に賛同はできなくとも政治にかかわろうという気持ちや意気込みは良いことだと思い、投票に行こうかなという気持ちになりました。
国のこと、政治のこと、文句があるなら選挙に行ってから言え。選挙に行っていないやつが「変わらない」「意味ない」とか言うな
国の未来は若者をみれば見える
今の政治に期待感を持てずこのまま無関心でいると、自分の生活までも脅かされるのではないかと感じ、自分から興味を持つようになった。
子を持ち子育てに関する政策など、関心を持つようになってから投票することが増えた。
自分たちが住んでいる国を自分たちが参加しなくて誰が参加する。国のため国民が動いてなんぼ。愛国心あるものやっだろう。
自分たちの権利を無駄にしてはいけない。昔の人はいけなかった。自分の力で政治をするのは難しいからこそ選挙に参加して意思表示ぐらいはする必要がある。放置して他人事にするのは人として無責任。
自分で動かそう未来。情熱を形に。
実際に投票しなければ、届く声も届かない。
人が集まり国になる。一人一人が声を上げるべき。自分の国だ。自分の未来に背を向けるな。
政治に無関心でも政治と無関係ではいられない
選挙に行かず、政治の批判をするのはおかしい！！
選挙に行かないと国に文句を言う権利もない
選挙に行っていない人が政治を批判してはならない。
選挙に行っても投票しない限り国の政治に関して意見を言う資格はない。
選挙に行っても投票率をあげないと相対的にやばい人が当選しやすくなる
選挙に投票せずに政治に文句を言うな
選挙は国民の義務やけんね。投票せんと国に文句も言えんのよ。
誰かがやってくれるだろうでは何も始まらない

投票しなかったら文句を言う権利はない
投票で自分の意思を示そう。
投票に行かないということは政治に文句は言えないといわれた。
投票は大事な意思表示。行かないのは無関心。
与えられた権利には参加しなさいといわれた

～シルバー民主主義～

若者が投票行かないと将来自分たちが大人になった時の生活がどうなっているか分からない。 若者が一人でも多く投票することによって少しでも国や地域がよくなる。 若者が投票しないと、高齢者ばかりの意見や希望が反映され、高齢者が残りの人生を生きやすい、若者の負担がとて大きい世の中になってしまう。 昔ではなく、現代にあった世の中にしてくため、投票は必要 若い議員を増やし、昔の偏った考え方を見直すことが必要、若者の意見を増やすことが必要
インターネットで老人が「将来年金がなくなっても関係ない」と言ったり、「政治に興味なくていい。政治にかかわるのは私たちだけでいい」と言ったりしていた広告を見ていくべきだと感じた。
テレビ等で若者の投票率が低いという現状を知り、正直それほど政治への関心は高くなく、候補者も政策も知りませんが、自分の生活を自分で決める権利が与えられているのだと思い、少しでも若者の投票率が上がり、若者の生活と政治が結びつくようにと思い投票に行くきっかけとなりました。
若い世代は選挙に行かなければどんどん搾取されるだけ。まずは選挙に行って投票率を上げることが大事。
若者が選挙に行っていないのに政治が若者向けになるわけがないという言葉
若者が投票しないと若者が生きやすい政策がたてられない
若者が投票しなかったら、高齢者ばかりを優先する政治家ばかりの日本になる
若者が投票に行かないから、高齢者が優遇される政策が増える。ありがとう。
若者が投票に行かなければどんどん老人向けの政治になる
若者の政策は、若者が投票しないと実現しない。
若者の投票率が低いことで若者に対しての政策が上がったとしても若者は投票に行っていないのだからそんな政策を打ったところで意味ないよねとなるからどんどん若い力で国や世界を好転、よい方向にもっていこうという言葉です。自分だけがよければいいよというような考え方ではなく、皆で手を取り合って社会に良い循環や影響を考えられる政治家がいてほしいなと思います。
若者の投票率が低く、高齢者の投票率が高いため、若者を軽んじて高齢者を優遇する政策が多い。
若者の票数が少ないから政治家は若者を見ない
政治家は投票率が高い世代に有利な政策をしようとする。若者が過ごしやすい環境にしたいのなら、若者の投票率を上げるべき。
選挙に行かないといつまでたっても老人優先の政治は変わらないぞ

～白紙投票～

白紙投票でもいい。若者は政治家にプレッシャーをかけろ

政治関係者と密に接する機会があった時、「無投票は意思表示の放棄に近い」というような言葉を聞いたから。無回答でも、市民として意思表示はしたいと思った。
白紙でも意思表示になるから投票に行こう
白紙で出すのでもいいから投票には行くべき。
白票でもいいからだしにいく。それすらしないなら政治に口を出す権利はない。
白票でも意味はある
白票でも投じる意味はある。
無投票は棄権と一緒に。意にそぐわなかったり分からなければ白紙でも投票すべし。白紙＝支持したい人はいないという意味

～その他～

20 歳になったから 1 回行ってみるか
お出かけのついでに行った
みんな行ってるから
考え方が大人になってきた時に、行こうと思いました。
大人なんだから
投票に行く時間があったから行った。
特にないが、周りの人が選挙に行っているのを見て行くようになった
免許取ったついでに選挙に行こう。
とりあえず投票率を上げにいくくらいの軽い気持ちで投票に行ってよい、どれが正しいか、最善かは誰も知らない等
ニュース番組で投票を呼び掛けていた
意外にすぐ終わるよ
一旦全員選挙行ってピース
各個の意識
自分の趣味の今後が脅かされる恐れがあったため、それが投票に行くきっかけとなった。
若者の投票率が低いと聞いた

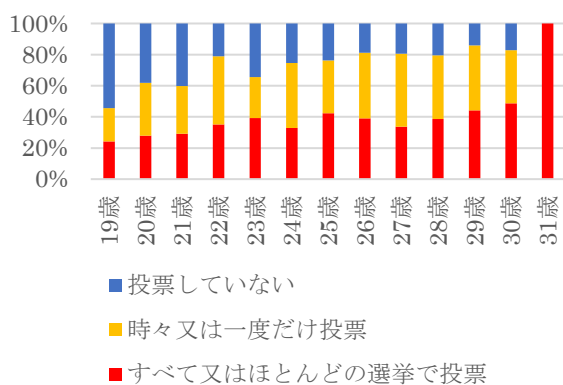
【集計結果（クロス集計と分析）】

問 1 と問 9・問 1 6．年齢とこれまでの投票状況の関係

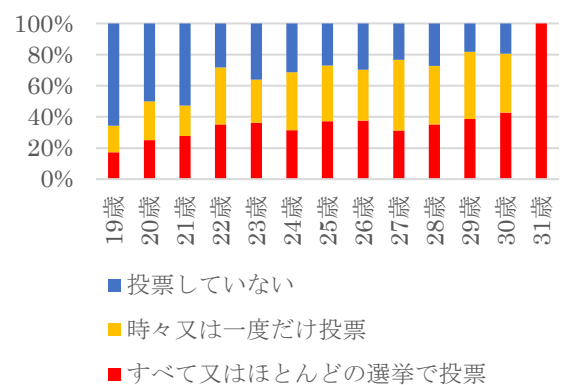
(単位：人)

年齢	国政選挙			地方選挙		
	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票	投票していない	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票	投票していない
19 歳	17	15	38	12	12	46
20 歳	19	23	26	17	17	34
21 歳	21	22	29	20	14	38
22 歳	25	31	15	25	26	20
23 歳	24	16	21	22	17	22
24 歳	22	28	17	21	25	21
25 歳	25	20	14	22	21	16
26 歳	25	27	12	24	21	19
27 歳	26	36	15	24	35	18
28 歳	34	36	18	31	33	24
29 歳	41	39	13	36	40	17
30 歳	40	28	14	35	31	16
31 歳	5	0	0	5	0	0
不明	2	1	0	2	0	1
計	326	322	232	296	292	292

年齢別の投票状況(国政選挙)



年齢別の投票状況(地方選挙)



【分析】

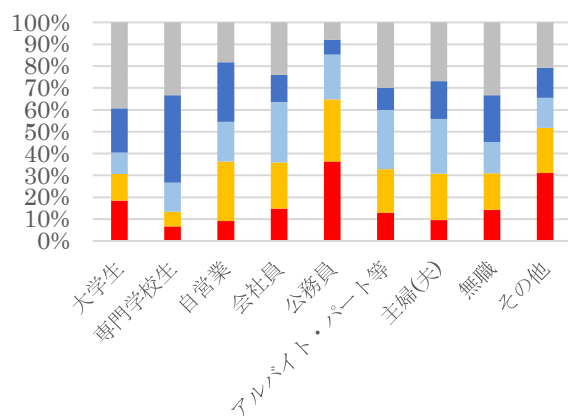
- ◆ 緩やかではあるが年齢を重ねるごとに投票率は高くなる傾向
- ◆ 概ね、どの年齢も国政選挙の方が地方選挙より少し投票率は高くなる傾向
- ◆ 22 歳の投票率が高いのは、選挙権年齢が 18 歳に引き下げられた平成 28 年に 18 歳になった有権者が多く、投票に対する意識が高かったものと思われる。

問3と問9・問16. 職業等とこれまでの投票状況の関係

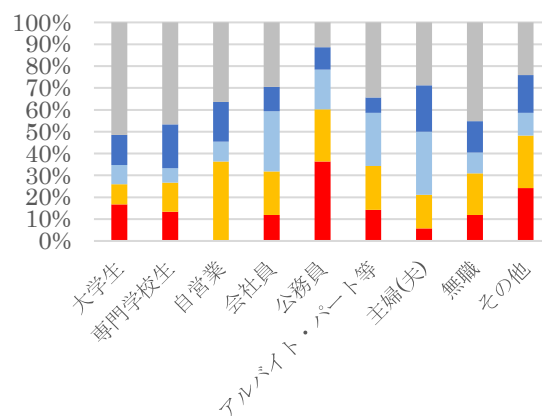
(単位：人)

職業等	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
大学生	32	21	17	35	68	29	16	15	24	89
専門学校生	1	1	2	6	5	2	2	1	3	7
自営業	1	3	2	3	2	0	4	1	2	4
会社員	59	83	110	49	95	47	79	109	44	117
公務員	32	25	18	6	7	32	21	16	9	10
アルバイト・パート等	9	14	19	7	21	10	14	17	5	24
主婦(夫)	5	11	13	9	14	3	8	15	11	15
無職	6	7	6	9	14	5	8	4	6	19
その他	9	6	4	4	6	7	7	3	5	7
不明	1	0	3	0	0	1	1	2	0	0
計	155	171	194	128	232	136	160	183	109	292

職業等別の投票状況(国政選挙)



職業等別の投票状況(地方選挙)



■一度も投票していない

■一度だけ投票した

■時々投票した

■ほとんどの選挙で投票した

■すべての選挙で投票した

■一度も投票していない

■一度だけ投票した

■時々投票した

■ほとんどの選挙で投票した

■すべての選挙で投票した

【分析】

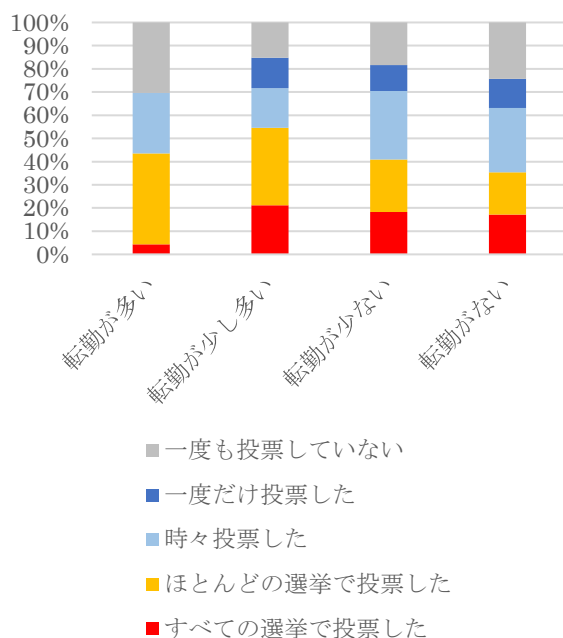
- ◆国政選挙では「公務員」「自営業」「会社員」の順で、地方選挙では「公務員」「主婦(夫)」「会社員」の順で投票率が高い傾向にある。一方、「大学生」「専門学校生」は一度も投票していないが多いが、これは選挙権を得てから間もないため、投票機会が少ないことも影響していると思われる。

問4と問9・問16. 転勤の多い職場とこれまでの投票状況の関係

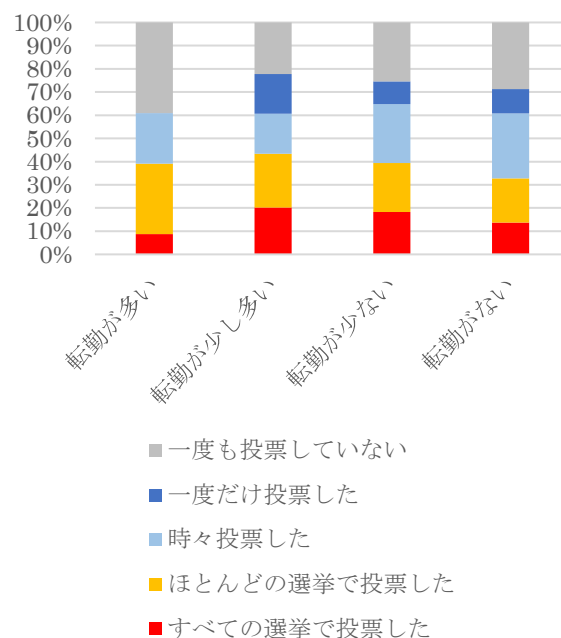
(単位：人)

転勤状況	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
転勤が多い	1	9	6	0	7	2	7	5	0	9
転勤が少し多い	21	33	17	13	15	20	23	17	17	22
転勤が少ない	13	16	21	8	13	13	15	18	7	18
転勤がない	71	76	115	52	101	57	79	116	44	119
不明	0	2	3	1	3	0	2	2	3	2
計	106	136	162	74	139	92	126	158	71	170

転勤状況別の投票状況(国政選挙)



転勤状況別の投票状況(地方選挙)



【分析】

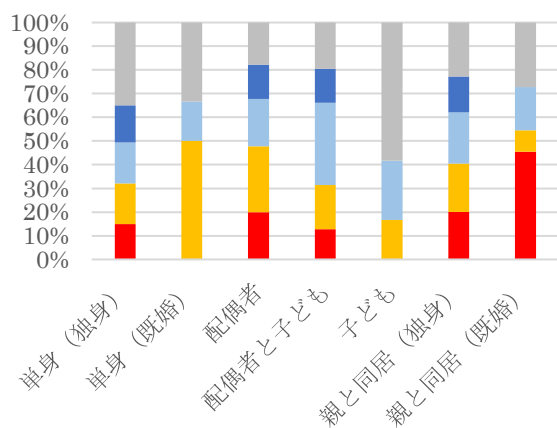
- ◆ 仕事で転勤が多い場合、すべて又はほとんどの選挙で投票した人は、地方選挙より国政選挙のほうが多い傾向
- ◆ 仕事で転勤が多い場合、一度も投票していない人は、国政選挙より地方選挙のほうが多い傾向

問6と問9・問16. 家族構成とこれまでの投票状況の関係

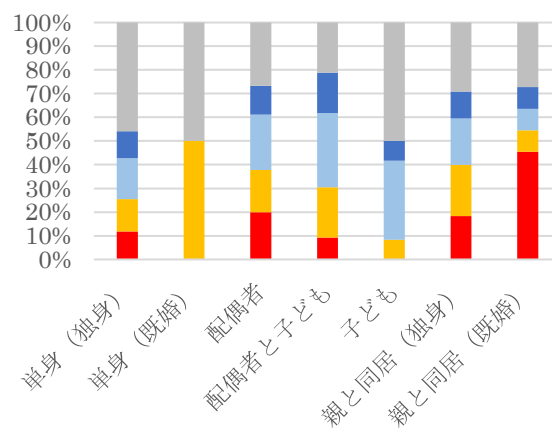
(単位：人)

家族構成	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
単身(独身)	38	44	44	40	89	30	35	44	29	117
単身(既婚)	0	3	1	0	2	0	3	0	0	3
配偶者	18	25	18	13	16	18	16	21	11	24
配偶者と子ども	15	22	41	17	23	11	25	37	20	25
子ども	0	2	3	0	7	0	1	4	1	6
親と同居(独身)	69	70	74	52	78	63	74	67	39	100
親と同居(既婚)	5	1	2	0	3	5	1	1	1	3
その他	6	4	11	5	11	6	5	8	8	10
不明	4	0	0	1	3	3	0	1	0	4
計	155	171	194	128	232	136	160	183	109	292

家族構成別の投票状況(国政選挙)



家族構成別の投票状況(地方選挙)



■一度も投票していない

■一度だけ投票した

■時々投票した

■ほとんどの選挙で投票した

■すべての選挙で投票した

■一度も投票していない

■一度だけ投票した

■時々投票した

■ほとんどの選挙で投票した

■すべての選挙で投票した

【分析】

◆回答数が多い「単身(独身)」「配偶者」「配偶者と子ども」「親と同居(独身)」を比較すると、「単身(独身)」の投票率がやや低いことから、単身世帯より家族と同居世帯の方が投票率は高い傾向にあり、国政選挙・地方選挙ともに同様の結果である。

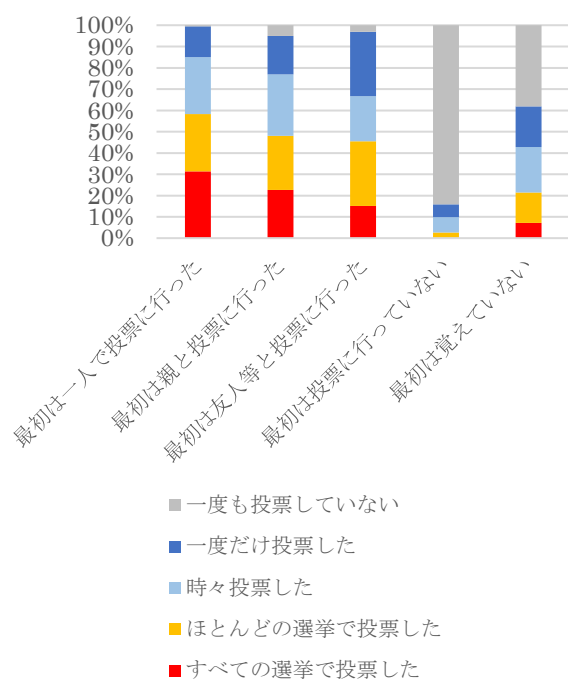
◆「配偶者と子ども」「子ども」の子育て世帯は、すべて又はほとんどの選挙で投票した人が少ない傾向にあり、特に「子ども」の母子・父子家庭と思われる世帯の投票率は、すべての家族構成のなかで、もっとも低い傾向

問 8 と問 9・問 1 6．選挙権を得た最初の投票とこれまでの投票状況の関係

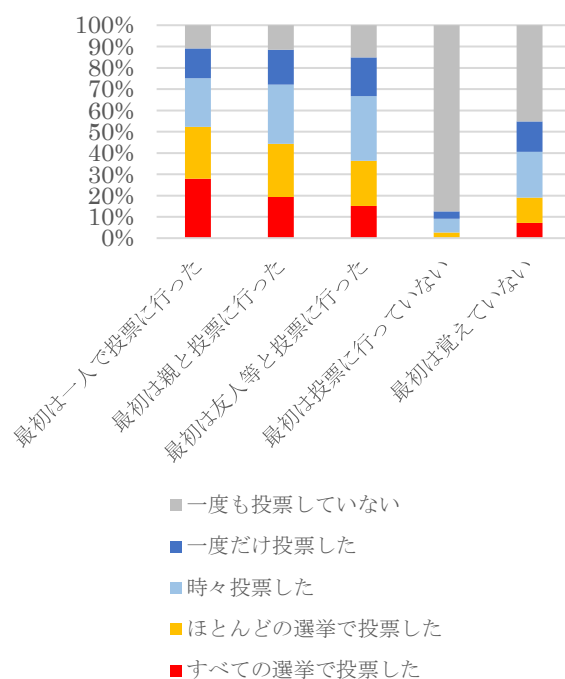
(単位：人)

選挙権を得た 最初の投票	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
最初は一人で投票に行った	63	54	54	29	1	56	49	46	28	22
最初は親と投票に行った	84	95	107	67	19	72	93	103	61	43
最初は友人等と投票に行った	5	10	7	10	1	5	7	10	6	5
最初は投票に行っていない	0	6	17	14	195	0	6	15	8	203
最初は覚えていない	3	6	9	8	16	3	5	9	6	19
計	155	171	194	128	232	136	160	183	109	292

最初の投票とこれまでの投票状況
(国政選挙)



最初の投票とこれまでの投票状況
(地方選挙)



【分析】

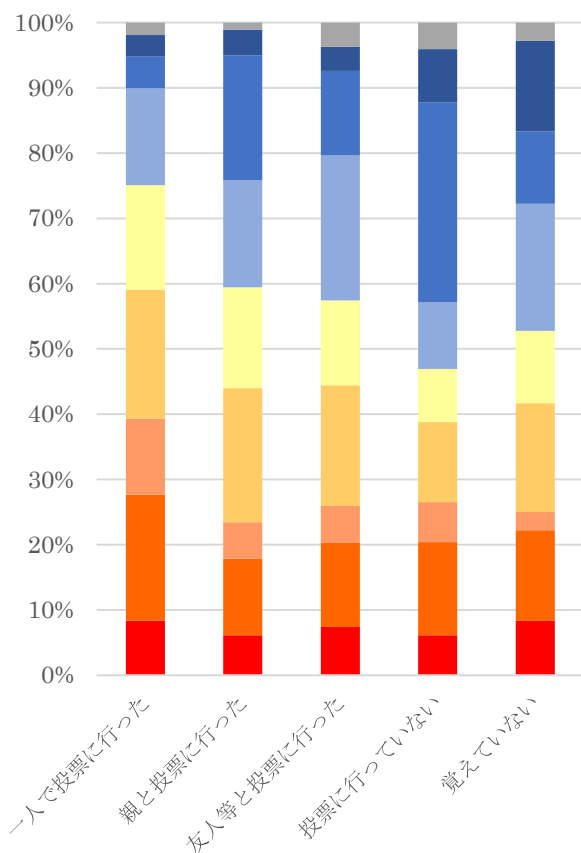
- ◆選挙権を得てから最初の選挙で投票に行っていない人は、その後の選挙でも投票に行かない傾向
- ◆最初に一人で投票に行った人は、親や友人等と一緒に投票に行った人と比べて、その後も継続的に投票に行く傾向

問 8と問 10・問 17. 選挙権を得た最初の投票と投票に行く理由の関係

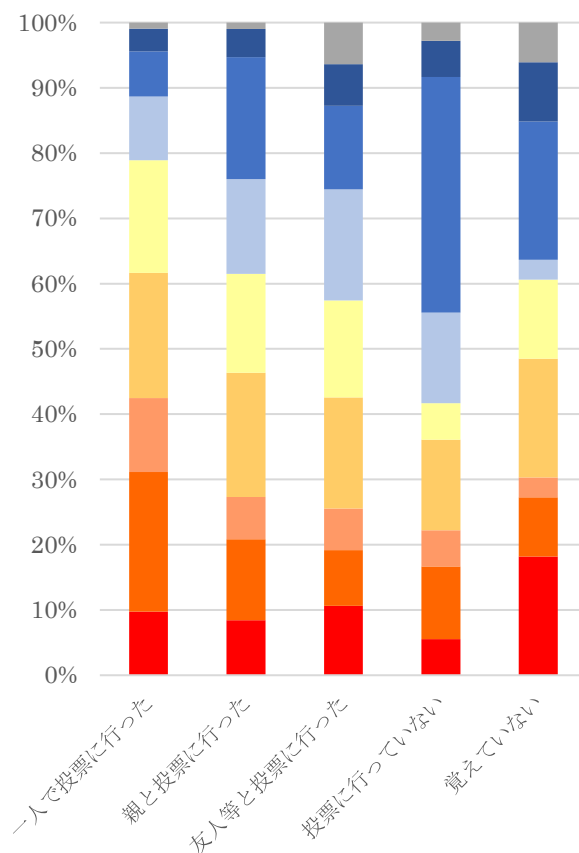
(単位：人)

投票に行く理由	国政選挙					地方選挙				
	最初は一人で投票に行った	最初は親と投票に行った	最初は友人等と投票に行った	最初は投票に行っていない	最初は覚えていない	最初は一人で投票に行った	最初は親と投票に行った	最初は友人等と投票に行った	最初は投票に行っていない	最初は覚えていない
支持する政党等や候補者がいたから	31	34	4	3	3	31	43	5	2	6
国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから	71	65	7	7	5	68	63	4	4	3
国政(地方政治)に声を届けるため	43	31	3	3	1	36	33	3	2	1
投票は義務だと思ったから	73	114	10	6	6	61	97	8	5	6
投票は権利だが、棄権すべきでないと 思ったから	59	86	7	4	4	55	77	7	2	4
経験のために一度は 行ってみようと思った から	55	91	12	5	7	31	74	8	5	1
投票に行くように 誘われたから	18	106	7	15	4	22	95	6	13	7
何となく	12	22	2	4	5	11	22	3	2	3
その他	7	6	2	2	1	3	5	3	1	2
不明	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
計	369	555	54	49	36	318	509	48	37	33

最初の投票と投票理由(国政選挙)



最初の投票と投票理由(地方選挙)



【分析】

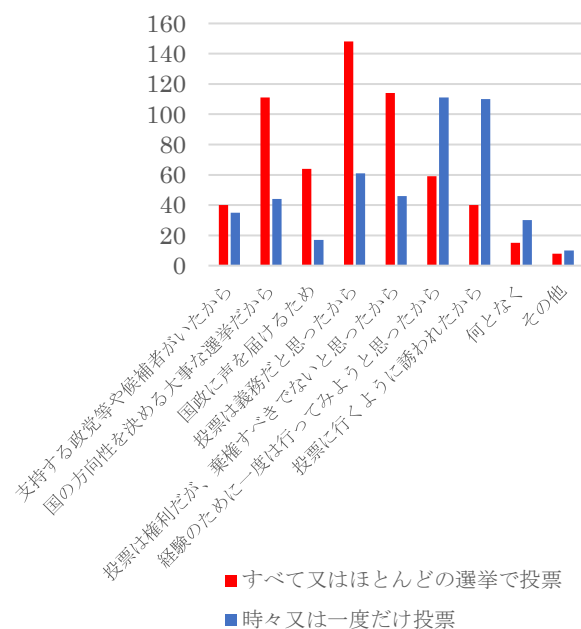
- ◆選挙権を得てから最初の選挙で、一人で投票に行った人は「投票は義務だと思ったから」「国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから」「投票は権利だが棄権すべきではないと思ったから」といった選挙に対して能動的な理由で投票に行く傾向があり、親と一緒に投票に行った人は「投票は義務だと思ったから」がもっとも多いが、「投票に行くように誘われたから」「経験のために一度は行ってみようと思ったから」といった受動的な理由で投票に行く傾向
- ◆最初の選挙で投票に行っていない人は「投票に行くように誘われたから」といった受動的な理由で投票に行く傾向

問10と問9、問17と問16. 投票に行く理由とこれまでの投票状況の関係

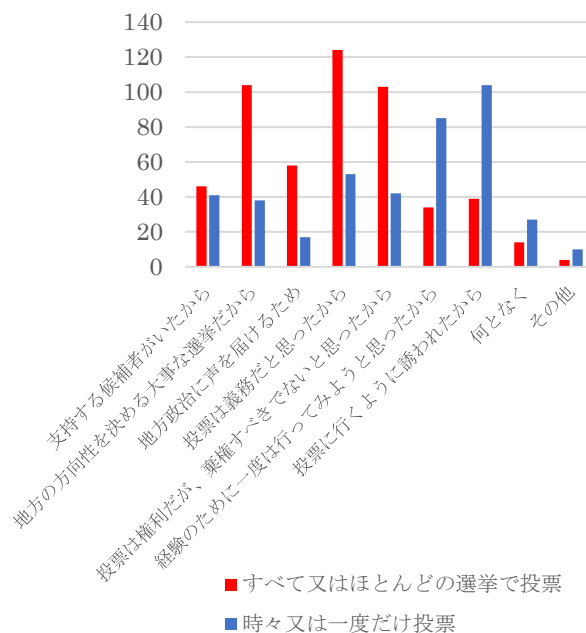
(単位：人)

投票に行く理由	国政選挙		地方選挙	
	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票
支持する政党等や候補者がいたから	40	35	46	41
国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから	111	44	104	38
国政(地方政治)に声を届けるため	64	17	58	17
投票は義務だと思ったから	148	61	124	53
投票は権利だが、棄権すべきでないと思ったから	114	46	103	42
経験のために一度は行ってみようと思ったから	59	111	34	85
投票に行くように誘われたから	40	110	39	104
何となく	15	30	14	27
その他	8	10	4	10
計	599	464	526	419

投票理由と投票状況(国政選挙)



投票理由別の投票状況(地方選挙)



【分析】

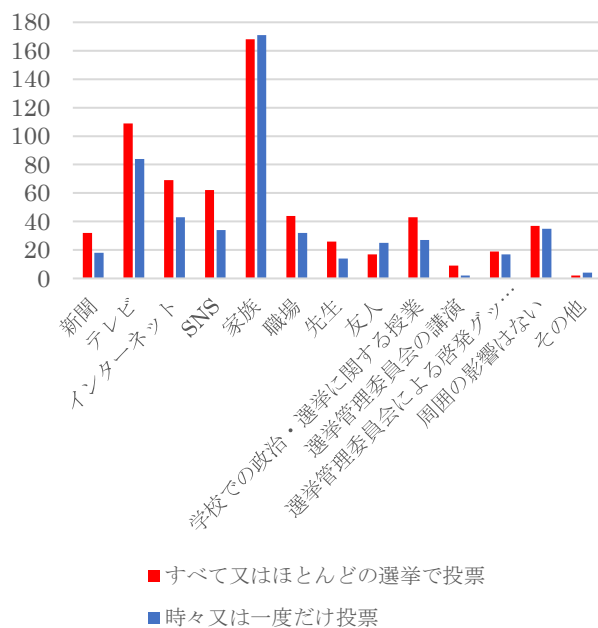
- ◆すべて又はほとんどの選挙で投票に行った人は「国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから」「投票は義務だと思ったから」「投票は権利だが棄権すべきではないと思ったから」といった選挙に対して能動的な理由が多く、時々又は一度だけ投票に行った人は「経験のために一度行ってみようと思ったから」「投票に行くように誘われたから」といった選挙に対して受動的な理由が多い傾向

問 11 と問 9、問 1 8 と問 1 6 . 投票行動への影響とこれまでの投票状況の関係

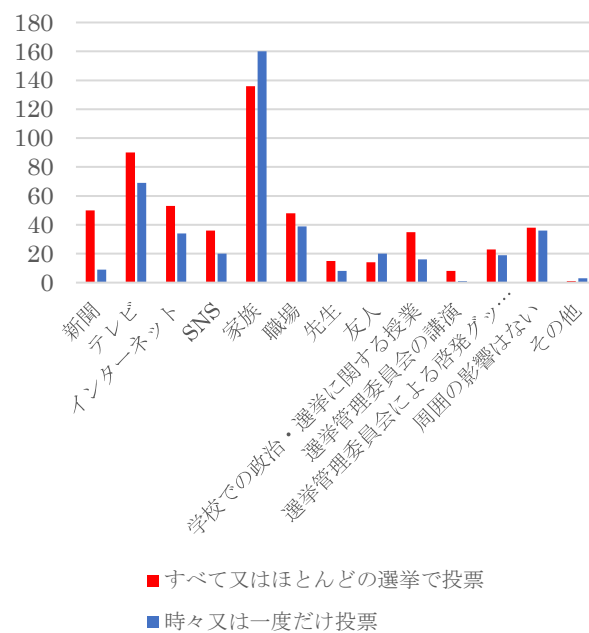
(単位：人)

投票行動への影響	国政選挙		地方選挙	
	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票
新聞	32	18	50	9
テレビ	109	84	90	69
インターネット	69	43	53	34
SNS	62	34	36	20
家族	168	171	136	160
職場	44	32	48	39
先生	26	14	15	8
友人	17	25	14	20
学校での政治・選挙に関する授業	43	27	35	16
選挙管理委員会の講演	9	2	8	1
選挙管理委員会による啓発グッズ配布、のぼり・ポスター等掲示	19	17	23	19
周囲の影響はない	37	35	38	36
その他	2	4	1	3
不明	4	14	50	9
計	641	520	555	446

投票行動への影響と投票状況(国政選挙)



投票行動への影響と投票状況(地方選挙)



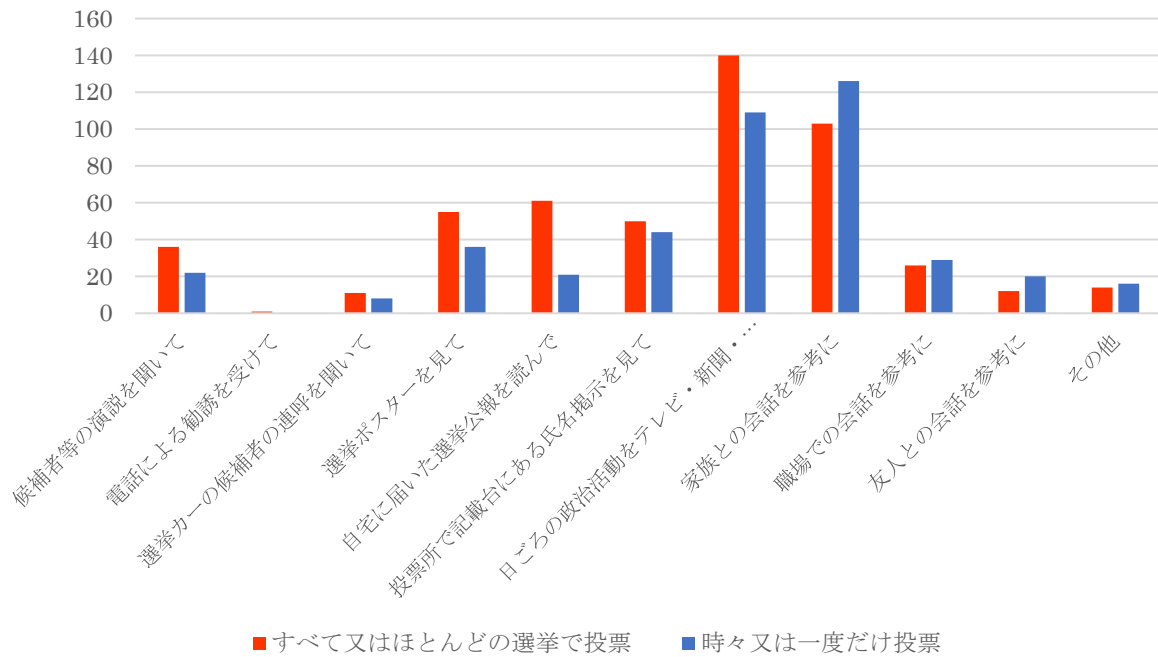
【分析】

- ◆ 投票行動に影響を与えたのは、すべて又はほとんどの選挙で投票に行った人も、時々又は一度だけ投票に行った人も「家族」がもっとも高く、「テレビ」「インターネット」「SNS」とメディアによる影響が続く。

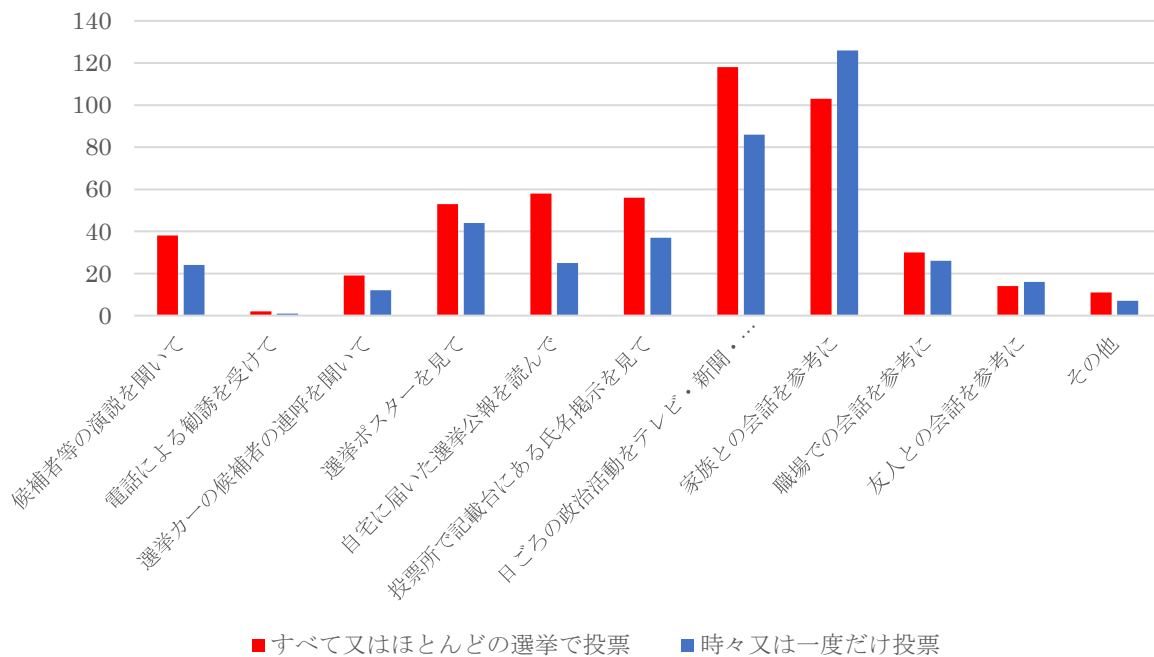
問 12と問 9、問 1 9と問 1 6．政党等・候補者の決定要因とこれまでの投票状況の関係（単位：人）

政党等・候補者の決定要因	国政選挙		地方選挙	
	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票	すべて又はほとんどの選挙で投票	時々又は一度だけ投票
候補者等の演説を聞いて	36	22	38	24
電話による勧誘を受けて	1	0	2	1
選挙カーの候補者の連呼を聞いて	11	8	19	12
選挙ポスターを見て	55	36	53	44
自宅に届いた選挙公報を読んで	61	21	58	25
投票所で記載台にある氏名掲示を見て	50	44	56	37
日ごろの政治活動をテレビ・新聞・インターネット等で見て	140	109	118	86
家族との会話を参考に	103	126	103	126
職場での会話を参考に	26	29	30	26
友人との会話を参考に	12	20	14	16
その他	14	16	11	7
不明	11	30	11	16
計	520	461	513	420

政党等・候補者の決定要因と投票状況(国政選挙)



候補者の決定要因と投票状況(地方選挙)



【分析】

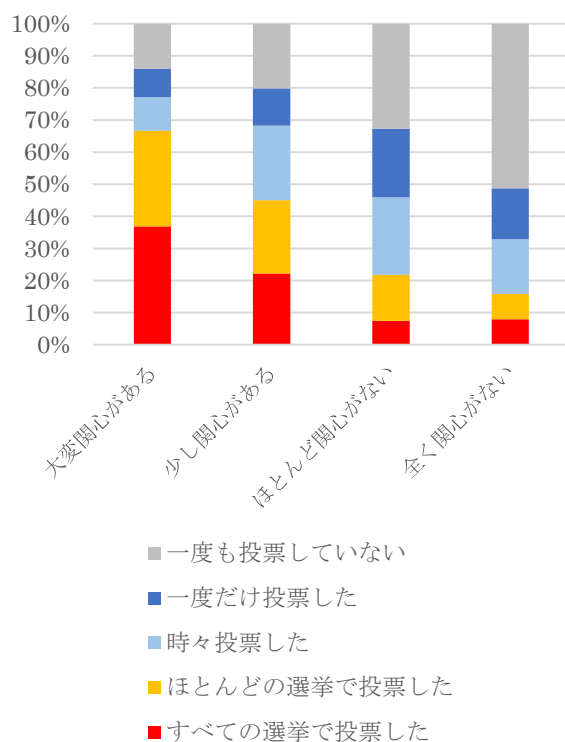
- ◆どの政党等・候補者に投票するか決定した要因について、すべて又はほとんどの選挙で投票に行った人も、時々又は一度だけ投票に行った人も「日ごろの政治活動をテレビ等で見て」「家族との会話を参考に」がもっとも高い。
- ◆すべて又はほとんどの選挙で投票に行った人は、メディアや選挙公報等といった自ら情報収集する割合が高いのに対し、時々又は一度だけ投票に行った人は、周囲との会話による割合が少し高い傾向

問 14 と問 9、問 21 と問 16. 政治への関心度とこれまでの投票状況の関係

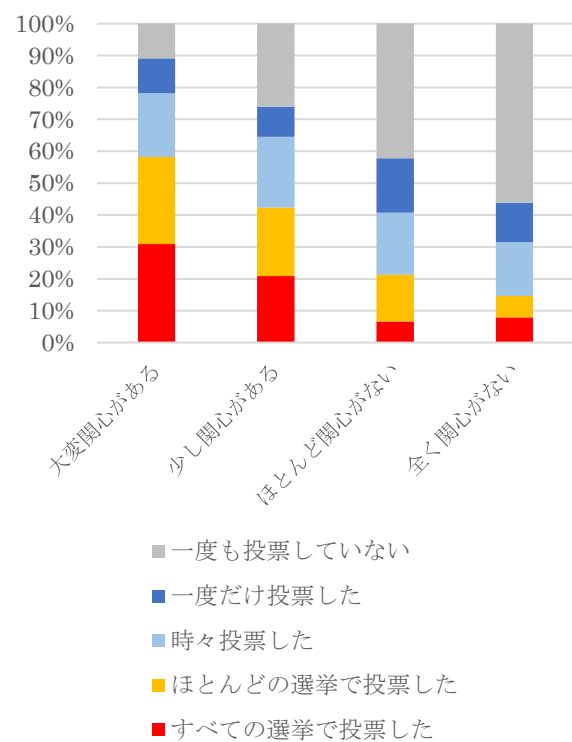
(単位：人)

政治への 関心度	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
大変関心がある	21	17	6	5	8	17	15	11	6	6
少し関心がある	108	111	113	56	98	92	95	98	42	115
ほとんど関心がない	19	37	62	55	84	19	42	56	49	121
全く関心がない	6	6	13	12	39	7	6	15	11	50
不明	1	0	0	0	3	1	2	3	1	0
計	155	171	194	128	232	136	160	183	109	292

政治的関心と投票行動(国政選挙)



政治的関心と投票行動(地方選挙)



【分析】

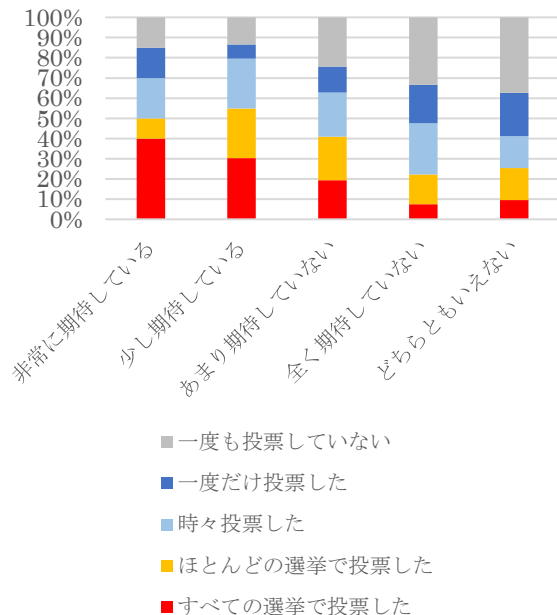
- ◆ 日頃から新聞・テレビ・インターネット等で政治に関する情報を収集するなど政治に関心を持っている人は、投票率が高い傾向

問 15 と問 9、問 22 と問 16. 政治への期待度とこれまでの投票状況の関係

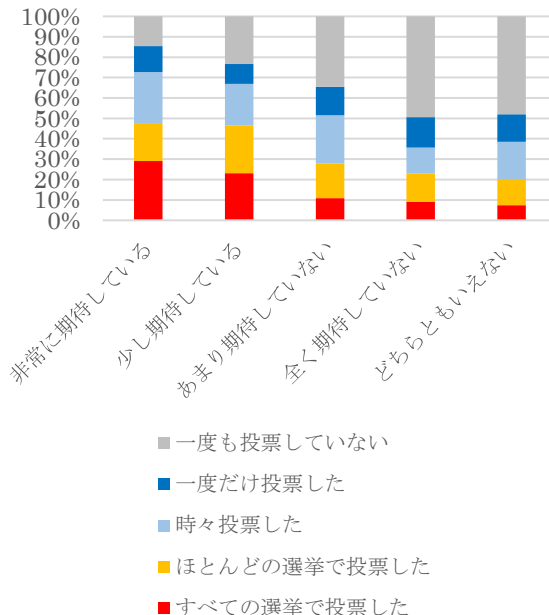
(単位：人)

政治への期待度	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
非常に期待している	8	2	4	3	3	16	10	14	7	8
少し期待している	43	35	35	10	19	69	70	61	29	70
あまり期待していない	77	86	87	51	97	31	49	68	40	99
全く期待していない	14	28	48	36	63	8	12	11	13	43
どちらともいえない	12	20	20	27	47	11	19	27	20	71
不明	1	0	0	1	3	1	0	2	0	1
計	155	171	194	128	232	136	160	183	109	292

政治的期待と投票状況(国政選挙)



政治的期待と投票状況(地方選挙)



【分析】

◆政治に期待している人は、投票率が高くなる傾向

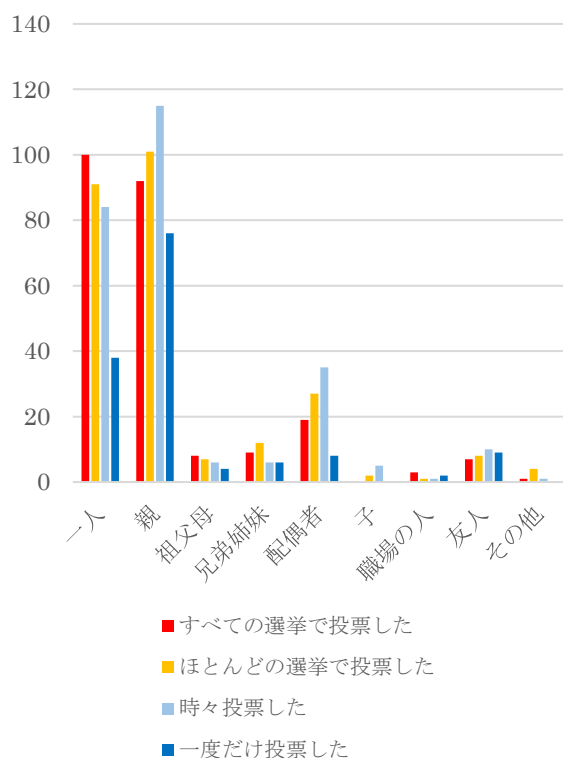
※問 14 と問 15 から国政について「関心」があるのが 62%であるものの、「期待」しているのは 18%にとどまっており、問 21 と問 22 から地方政治について「関心」は 56%と国政と比べて少し低いが、「期待」しているのは 40%と国政と比べて高い。

問 23 と問 9・問 16. 投票同伴とこれまでの投票状況の関係

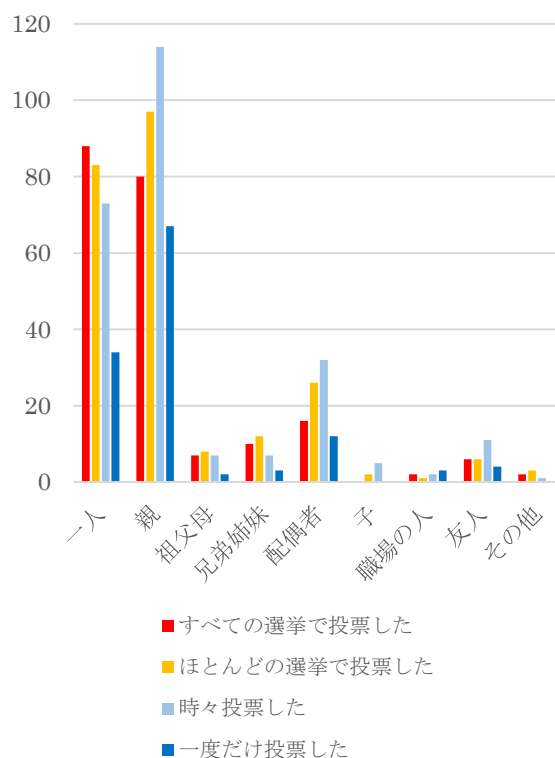
(単位：人)

投票 同伴	国政選挙				地方選挙			
	すべての 選挙で 投票した	ほとんどの 選挙で 投票した	時々 投票した	一度だけ 投票した	すべての 選挙で 投票した	ほとんどの 選挙で 投票した	時々 投票した	一度だけ 投票した
一人	100	91	84	38	88	83	73	34
親	92	101	115	76	80	97	114	67
祖父母	8	7	6	4	7	8	7	2
兄弟姉妹	9	12	6	6	10	12	7	3
配偶者	19	27	35	8	16	26	32	12
子	0	2	5	0	0	2	5	0
職場の人	3	1	1	2	2	1	2	3
友人	7	8	10	9	6	6	11	4
その他	1	4	1	0	2	3	1	0
不明	1	0	2	0	1	0	2	0
計	240	253	265	143	212	238	254	125

投票同伴と投票行動(国政選挙)



投票同伴と投票行動(地方選挙)



【分析】

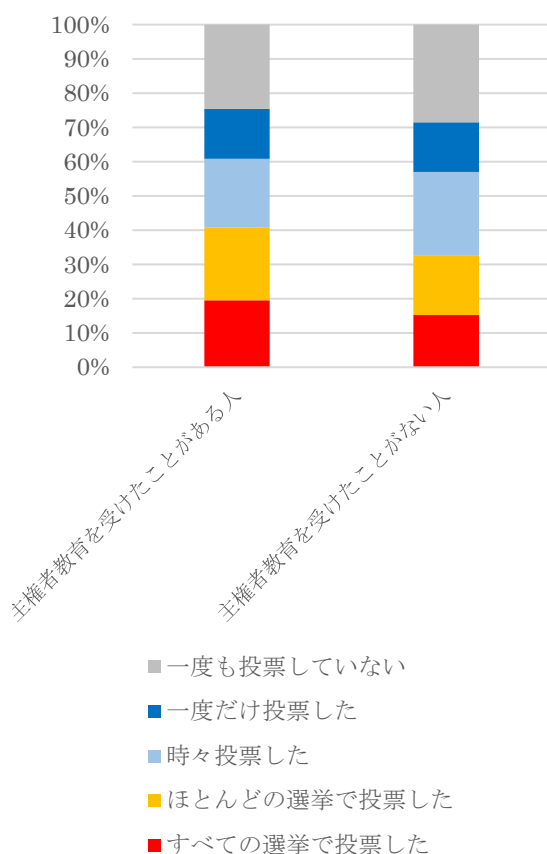
- ◆ 投票に行ったことがある人のうち、一人で投票に行く人は、すべての選挙で投票に行くがもっとも多く、一度だけ投票したという人は少ない傾向

問 24 と問 9・問 16. 主権者教育とこれまでの投票状況の関係

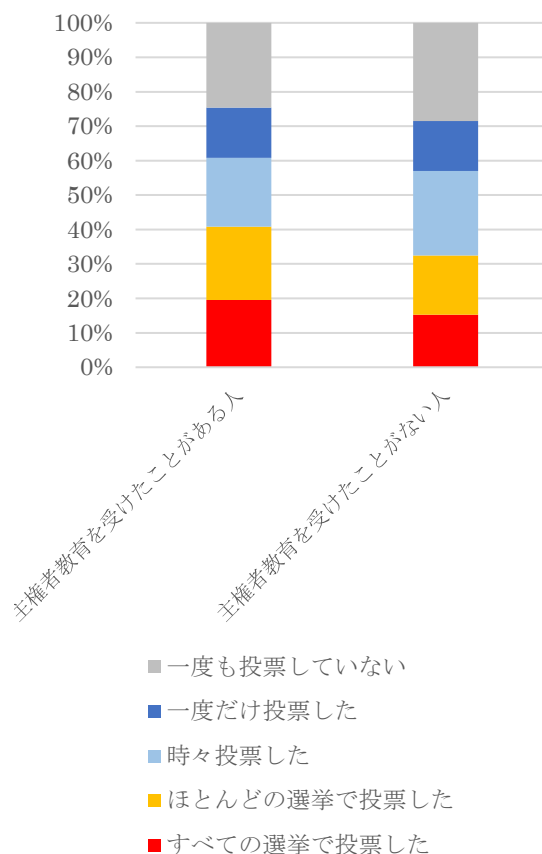
(単位：人)

	国政選挙		地方選挙	
	主権者教育を受けたことがある人	主権者教育を受けたことがない人	主権者教育を受けたことがある人	主権者教育を受けたことがない人
すべての選挙で投票した	94	61	82	54
ほとんどの選挙で投票した	102	69	96	64
時々投票した	96	98	87	96
一度だけ投票した	70	58	61	48
一度も投票していない	118	114	154	138
計	480	400	480	400

主権者教育と投票状況(国政選挙)



主権者教育と投票行動(地方選挙)



【分析】

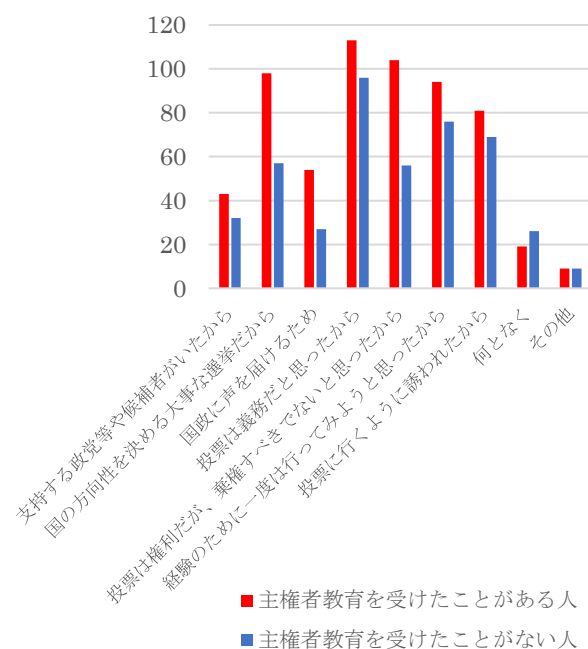
- ◆主権者教育を受けたことがある人は、ない人と比べて、すべて又はほとんどの選挙で投票したと回答した割合が高いことから、主権者教育を行うことは継続的な投票行動に効果があると思われる。

問 24 と問 10・問 17. 主権者教育と投票に行く理由の関係

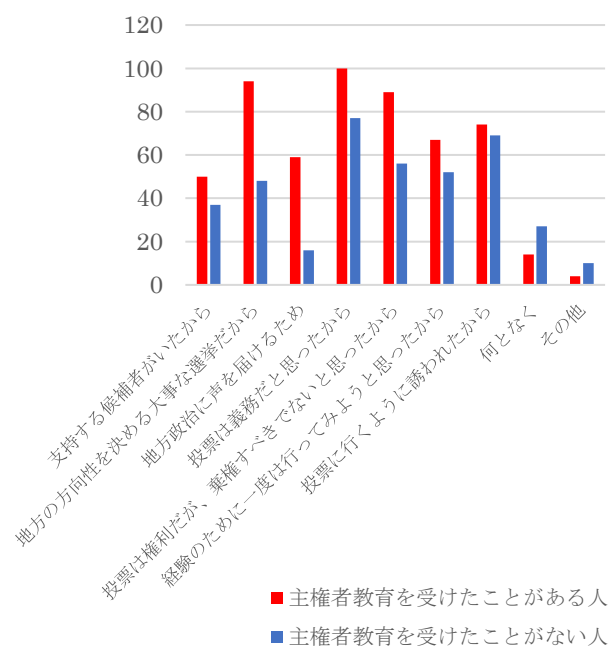
(単位：人)

	国政選挙		地方選挙	
	主権者教育を受けたことがある人	主権者教育を受けたことがない人	主権者教育を受けたことがある人	主権者教育を受けたことがない人
支持する政党等や候補者がいたから	43	32	50	37
国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから	98	57	94	48
国政(地方政治)に声を届けるため	54	27	59	16
投票は義務だと思ったから	113	96	100	77
投票は権利だが、棄権すべきでないと 思ったから	104	56	89	56
経験のために一度は行ってみようと思ったから	94	76	67	52
投票に行くように誘われたから	81	69	74	69
何となく	19	26	14	27
その他	9	9	4	10
計	615	448	552	393

主権者教育と投票に行く理由
(国政選挙)



主権者教育と投票に行く理由
(地方選挙)



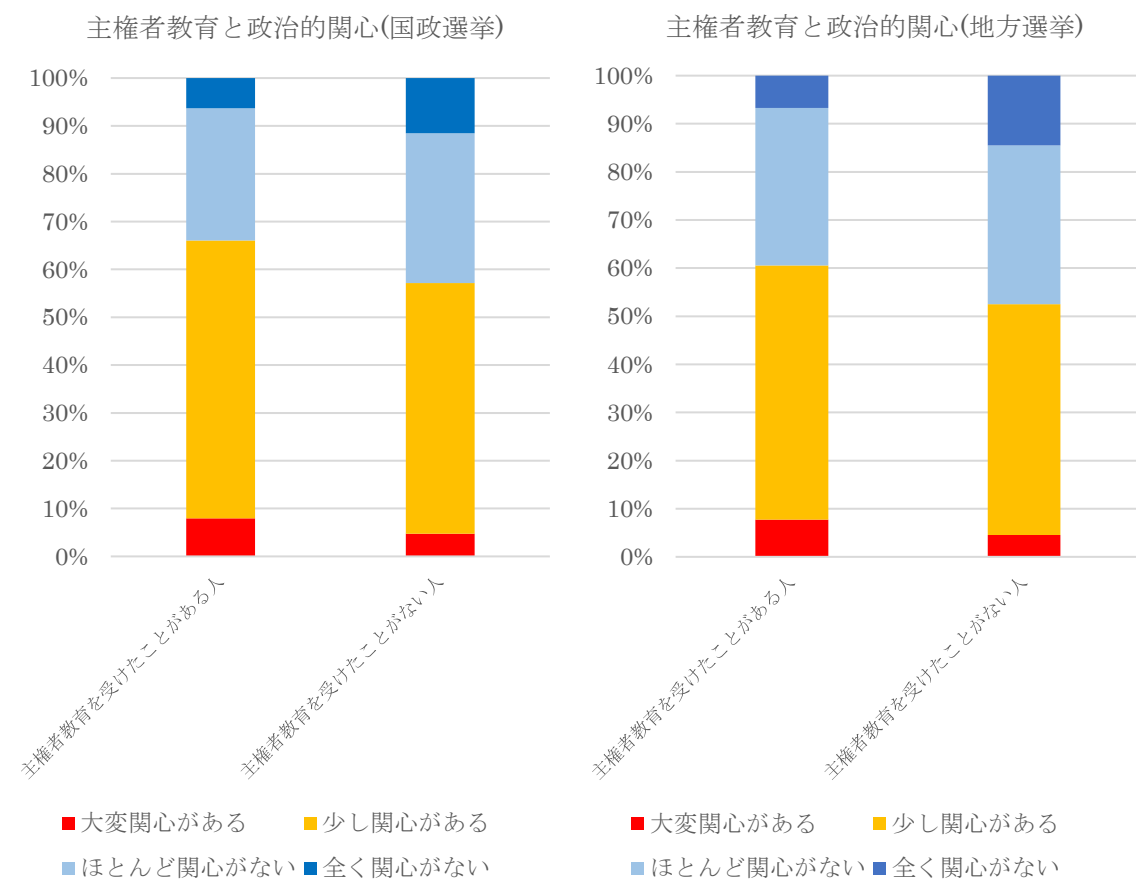
【分析】

◆主権者教育を受けたことがある人もない人も投票に行く理由で一番多いのは「投票は義務だと思ったから」であるが、次に多いのは、主権者教育を受けたことがある人は「投票は権利だが、棄権すべきではないと思ったから」「国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから」といった選挙に対して能動的な理由で、主権者教育を受けたことがない人は「経験のために一度行ってみようと思ったから」「投票に行くように誘われたから」といった選挙に対して受動的な理由となっている。

問 24 と問 14・問 21. 主権者教育と政治的関心の関係

(単位：人)

	国政選挙		地方選挙	
	主権者教育を受けたことがある人	主権者教育を受けたことがない人	主権者教育を受けたことがある人	主権者教育を受けたことがない人
大変関心がある	38	19	37	18
少し関心がある	277	209	253	189
ほとんど関心がない	132	125	157	130
全く関心がない	30	46	32	57
不明	3	1	1	6
計	480	400	480	400



【分析】

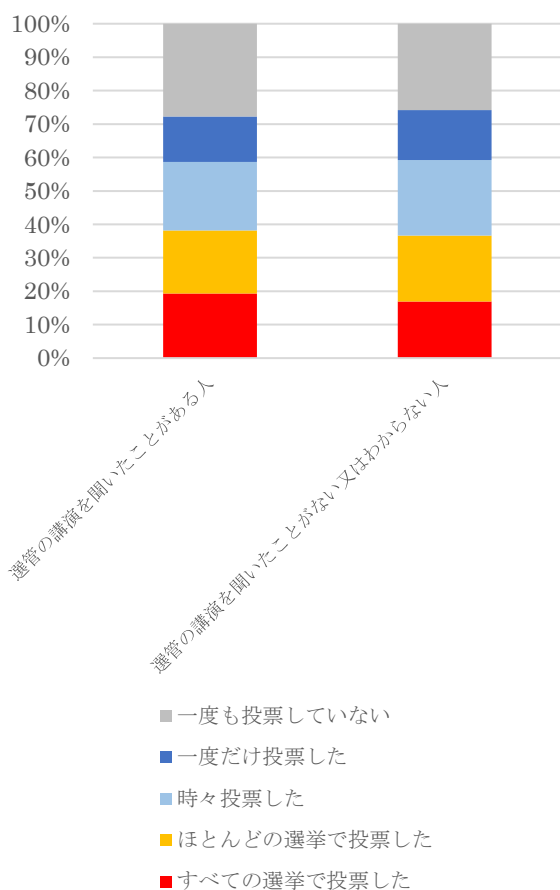
◆主権者教育を受けたことがある人は、ない人と比べて、政治的な関心が高い傾向

問 25 と問 9・問 16. 選管の講演とこれまでの投票状況の関係

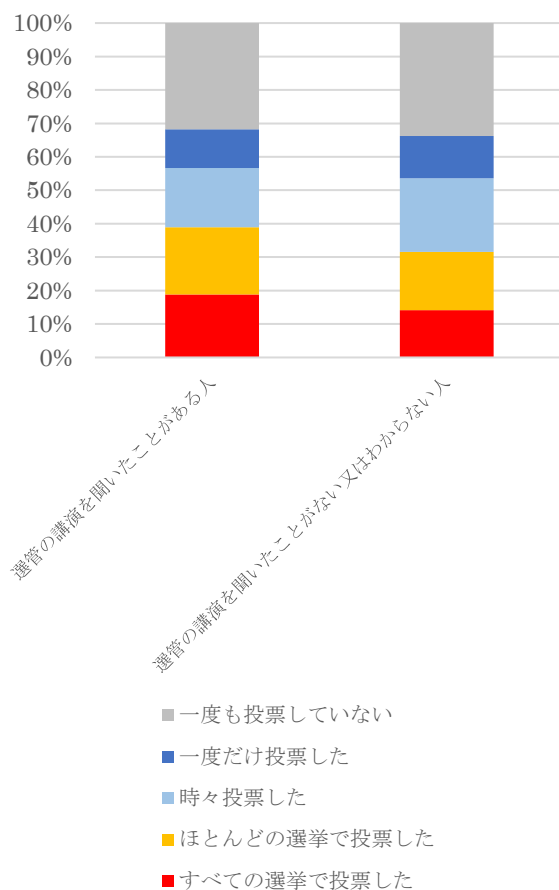
(単位：人)

選管の講演	国政選挙		地方選挙	
	選管の講演を聞いたことがある人	選管の講演を聞いたことがない又はわからない人	選管の講演を聞いたことがある人	選管の講演を聞いたことがない又はわからない人
すべての選挙で投票した	48	107	47	89
ほとんどの選挙で投票した	47	124	50	110
時々投票した	51	143	44	139
一度だけ投票した	34	94	29	80
一度も投票していない	69	163	79	213
計	249	631	249	631

選管の講演と投票状況(国政選挙)



選管の講演と投票状況(地方選挙)



【分析】

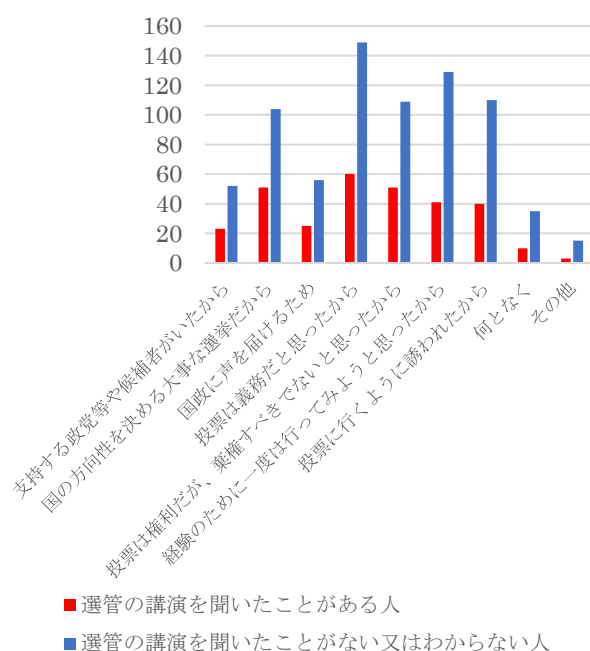
- ◆選管の選挙啓発の講演を聞いたことがある人は、ない人又はわからない人と比べて、「すべての選挙で投票した」「ほとんどの選挙で投票した」の割合が若干ではあるが高い傾向

問 25 と問 10・問 17. 選管の講演と投票に行く理由の関係

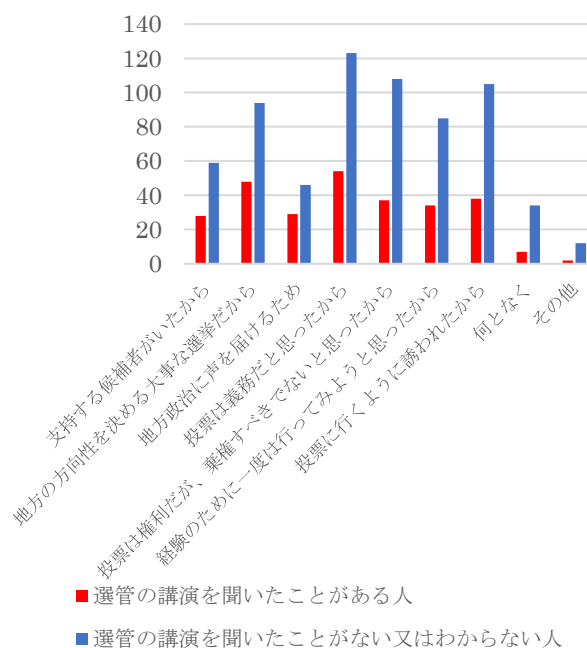
(単位：人)

選管の講演	国政選挙		地方選挙	
	選管の講演を聞いたことがある人	選管の講演を聞いたことがない又はわからない人	選管の講演を聞いたことがある人	選管の講演を聞いたことがない又はわからない人
支持する政党等や候補者がいたから	23	52	28	59
国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから	51	104	48	94
国政(地方政治)に声を届けるため	25	56	29	46
投票は義務だと思ったから	60	149	54	123
投票は権利だが、棄権すべきではないと思ったから	51	109	37	108
経験のために一度は行ってみようと思ったから	41	129	34	85
投票に行くように誘われたから	40	110	38	105
何となく	10	35	7	34
その他	3	15	2	12
計	304	759	277	666

選管の講演と投票に行く理由
(国政選挙)



選管の講演と投票に行く理由
(地方選挙)



【分析】

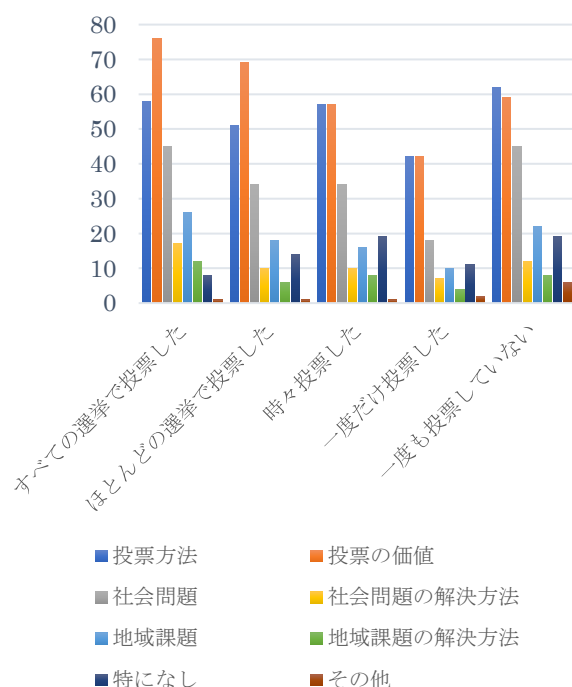
- ◆ 投票に行く理由について、選管の選挙啓発の講演を聞いたことがある人もない人も、もっとも多いのは「投票は義務だと思ったから」で、次に高いのは、講演を聞いたことがある人は「投票は権利だが、棄権すべきではないと思ったから」「国(地方)の方向性を決める大事な選挙だから」が高い傾向で、講演を聞いたことがない人は「経験のために一度は行ってみようと思ったから」「投票は権利だが、棄権すべきではないと思ったから」「投票に行くように誘われたから」が高い傾向

問 26 と問 9・問 16. 主権者教育などで学んだこととこれまでの投票状況の関係

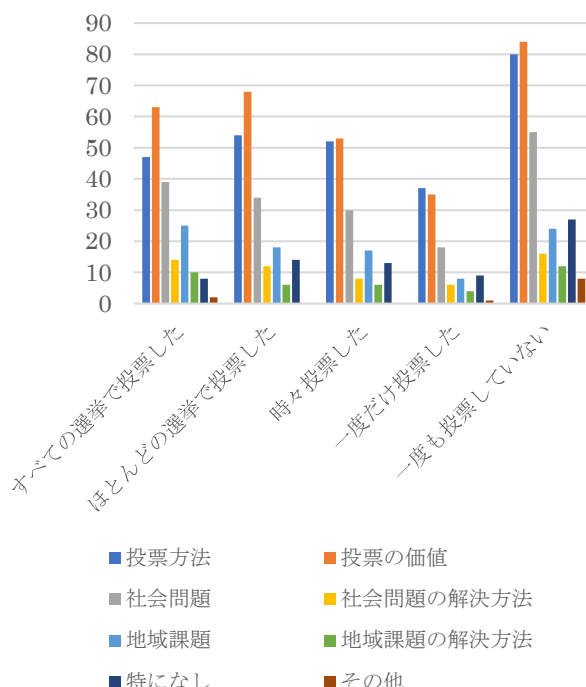
(単位：人)

主権者教育 などで 学んだこと	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
投票方法	58	51	57	42	62	47	54	52	37	80
投票の価値	76	69	57	42	59	63	68	53	35	84
社会問題	45	34	34	18	45	39	34	30	18	55
社会問題の解決方法	17	10	10	7	12	14	12	8	6	16
地域課題	26	18	16	10	22	25	18	17	8	24
地域課題の解決方法	12	6	8	4	8	10	6	6	4	12
特になし	8	14	19	11	19	8	14	13	9	27
その他	1	1	1	2	6	2	0	0	1	8
不明	8	5	6	2	15	8	3	5	4	16
計	251	208	208	138	248	216	209	184	122	322

主権者教育で学んだことと投票行動
(国政選挙)



主権者教育で学んだことと投票行動
(地方選挙)



【分析】

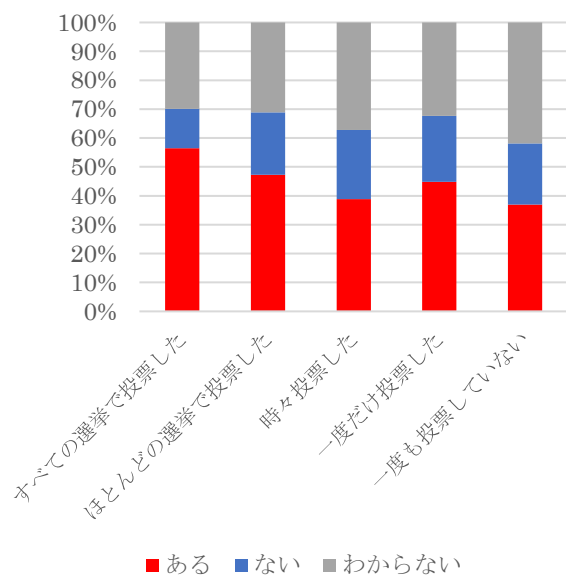
◆すべて又はほとんどの選挙で投票に行った人は、主権者教育で「投票の価値」を学んだと回答した人が多い。

問 27 と問 9・問 16. 生活と政治・選挙の繋がりとこれまでの投票状況の関係

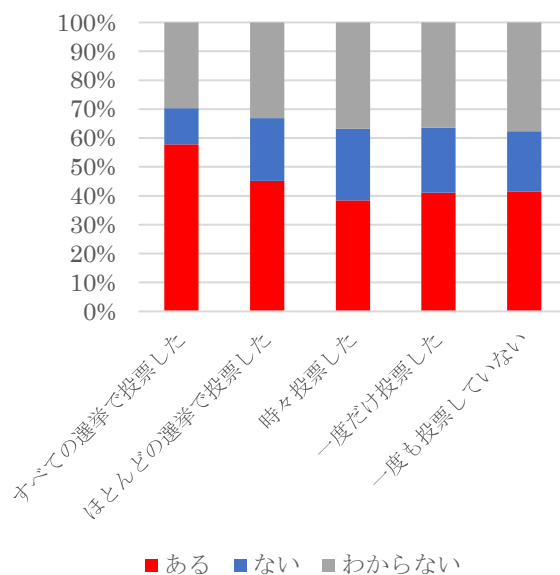
(単位：人)

生活と 政治・選挙 の繋がり	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
ある	87	79	73	57	84	78	71	68	44	119
ない	21	36	45	29	48	17	34	44	24	60
わからない	46	52	70	41	95	40	52	65	39	108
不明	1	4	6	1	5	1	3	6	2	5
計	155	171	194	128	232	136	160	183	109	292

生活と政治・選挙の繋がりと投票状況
(国政選挙)



生活と政治・選挙の繋がりと投票状況
(地方選挙)



【分析】

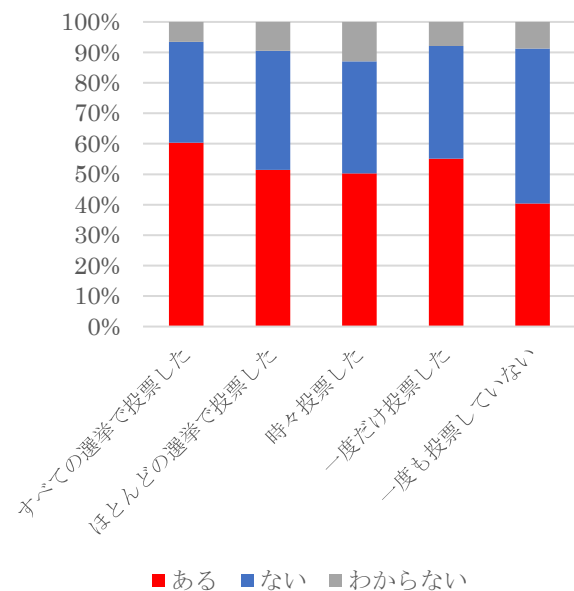
◆生活と政治・選挙はつながっていると思っている人ほど、投票に行く傾向にある。

問 28 と問 9・問 16. 親子投票とこれまでの投票状況の関係

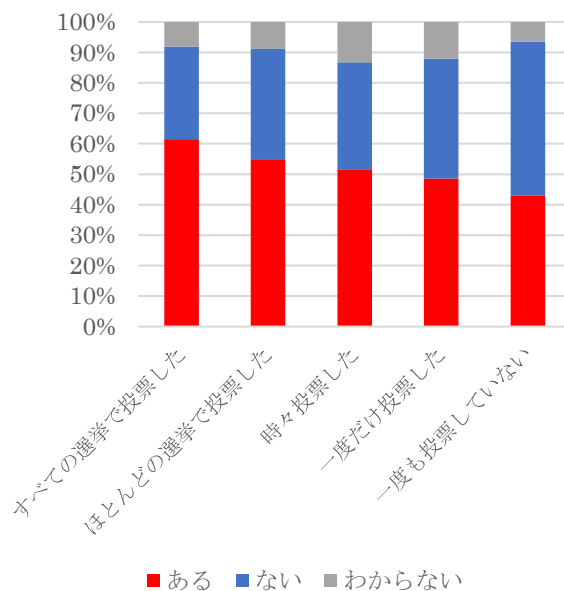
(単位：人)

親子投票	国政選挙					地方選挙				
	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない	すべての選挙で投票した	ほとんどの選挙で投票した	時々投票した	一度だけ投票した	一度も投票していない
ある	93	87	97	70	92	83	87	93	52	124
ない	51	66	71	47	116	41	58	64	42	146
わからない	10	16	25	10	20	11	14	24	13	19
不明	1	2	1	1	4	1	1	2	2	3
計	155	171	194	128	232	136	160	183	109	292

親子投票と投票状況(国政選挙)



親子投票と投票状況(地方選挙)



【分析】

◆子どもの頃に親と一緒に投票に行ったことがある人は、ない人と比べて投票に行く傾向にある。

【まとめ】

- ◆選挙権を得てから**最初の選挙で投票に行っていない人**は、その後の選挙でも**投票に行かない**傾向にある。
…35 頁「問 8 と問 9・問 16」から
- ◆**主権者教育を受けた人**は**継続的に投票**に行く傾向にある。
…45 頁「問 24 と問 9・問 16」から
- ◆投票に行く理由について、**主権者教育を受けた人や継続的に投票に行っている人**は、**投票は義務である**と考えていたり、義務ではないが**棄権すべきではない**と考えている割合が高く、**主権者教育を受けていない人や継続的に投票に行っていない人**は、**経験のためや周囲から誘われたことが理由**とする割合が高い。
…38 頁「問 10 と問 9、問 17 と問 16」及び 46 頁「問 24 と問 10・問 17」から
- ◆**継続的に投票に行っている人**は、行っていない人と比べて、メディアや選挙公報など**自ら情報収集する**傾向が強い。
…40 頁「問 12 と問 9、問 19 と問 16」から

以上、今回の調査から、本市ではこれまで若者向けの選挙啓発を積極的に行ってきましたが、主権者教育については継続的な投票行動に良い影響を与えており、今後も行っていくべきと考えます。

特に最初の選挙で投票に行くことは、その後の投票行動に大きく影響すると思われ、投票に行くことへの障壁をできるかぎり取り除くことが重要であり、これまでのような親子投票による子どもの頃の投票体験や、親や友人など周囲の人たちとの声掛けによる投票同伴なども大切と考えます。

そして、継続的な投票行動に繋げるためには、投票に対する意識を高めることや、自ら情報収集し分析する力を身に付けることがもっとも重要であり、そのために、世の中の問題や課題を自分ごととして捉え、自ら情報収集し、判断し、行動していく主権者としての意識を醸成していくことが、今後の選挙啓発でより重要と考えます。